

14.21

801

14.21-801

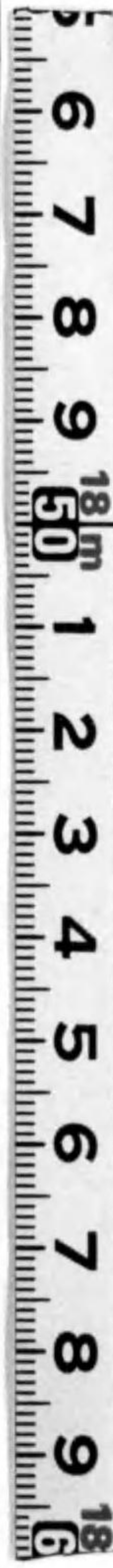


1200501163650

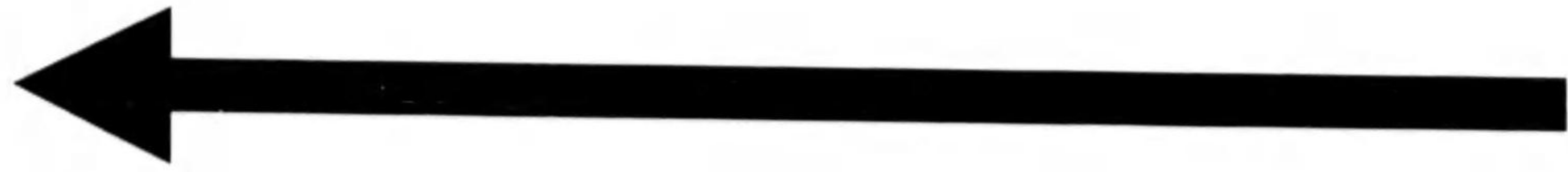
〔北海道農事試験場〕業務概要

同場編

昭和十三年度



始



14
80

昭和十三年度業務概要

北海道農事試験場

本篇には北海道農事試験場本、支場、特定試験地、試作場原種

圃、採種圃、養成圃、採種圃監督、原蠶種製造、模範果樹園、水稻新品

種育成試験竝に小麥育種地方試験に於ける昭和十三年四月
より同十四年三月に至る業務の概要を登載す



昭和十五年三月



北海道農事試験場

14.24
801

昭和十三年度北海道農事試験場業務概要

目次

北海道農事試験場(本場)

第一 試験及調査	一
第二 普及事業	四
第三 其他	一〇

美唄泥炭地試験地

第一 試験及調査	四
第二 普及事業	四
第三 其他	四

早來火山灰地試験地

第一 試験及調査	四
第二 普及事業	四
第三 其他	七



北海道農事試験場

昭和十三年三月二十三日
本場
美唄
早來

上川支場

第一 試験及調査 六
第二 普及事業 三
第三 其の他 六

十勝支場

第一 試験及調査 五
第二 普及事業 三
第三 其の他 三

幸釐高丘地試験地

第一 試験及調査 五
第二 普及事業 八
第三 其の他 三

北見支場

第一 試験及調査 八
第二 普及事業 九
第三 其の他 六

渡島支場

第一 試験及調査 九
第二 普及事業 九
第三 其の他 九

根室支場

第一 試験及調査 一〇
第二 普及事業 一五
第三 其の他 一七

檜山試作場

第一 模範作 一〇
第二 試験及調査 一〇
第三 普及事業 一三
第四 其の他 一四

俱知安試作場

第一 模範作 一五
第二 試験及調査 一六
第三 普及事業 一〇
第四 其の他 一三

釧路試作場

- 第一 經營模範.....一三三
- 第二 試驗及調査.....一三三
- 第三 普及事業.....一三三
- 第四 其の他.....一三三

美深試作場

- 第一 模範作.....一三三
- 第二 試驗及調査.....一三三
- 第三 普及事業.....一三三
- 第四 其の他.....一三三

天鹽試作場

- 第一 經營模範.....一四〇
- 第二 試驗及調査.....一四一
- 第三 普及事業.....一四一
- 第四 其の他.....一四七

潮柵試作場

- 第一 經營模範.....一四九

日高試作場

- 第二 試驗及調査.....一五〇
- 第三 普及事業.....一五三
- 第四 其の他.....一五五

稚内試作場

- 第一 經營模範.....一五六
- 第二 試驗及調査.....一五六
- 第三 普及事業.....一六〇
- 第四 其の他.....一六三

美瑛試作場

- 第一 經營模範.....一七〇
- 第二 試驗及調査.....一七〇
- 第三 普及事業.....一七四
- 第四 其の他.....一七五

和寒除蟲菊試驗地

- 第一 試験及調査.....一六
- 第二 普及事業.....一六
- 第三 其の他.....一六

島松馬鈴薯玉蜀黍試験地

- 第一 試験及調査.....一六
- 第二 普及事業.....一六
- 第三 其の他.....一六

- 原種園.....一六
- 採種園.....一六
- 苗木養成園.....一六
- 採種園監督.....一六
- 原蠶種製造.....一六
- 模範果樹園.....一六
- 水稻新品種育成試験.....一六
- 小麥育種地方試験.....一六

昭和十三年度業務概要

北海道農事試験場 (本場)

第一 試験及調査

種藝に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

種	種類	数	區	數	面	積
豊	試験	一五		二四		二、三〇一
品	改良に關する試験及調査	二五		一、八九三		八、五〇〇
耕	種に關する試験及調査	二三		五一二		四、八〇〇
其	の他の試験及調査	一〇		二二		五五一
委	託試験	八		九一八		八〇、〇〇〇
計		八一		三、三六九		九六、一五二

本試験は、普通作物及特用作物の各種に就き、品種の選擇並に育成、耕種肥培、品質等に關する試験及調査、其の他作物に關する基礎的調査を行ふを目的とす。而して本年の氣候は、融雪後概して適順にして、殊に六月に入り好晴なる天候持續

せる爲、稍乾燥の嫌ありしも、爾後天候惡變し同月下旬は冷涼濕潤に經過せり。然るに七月中旬に入り再び氣温急激に上昇し、八月下旬に至る間は近年稀に見る高温多照にして、加ふるに降雨殆どなかりし爲著しく乾燥に失したり。爾後は氣温の降下著しく、九月下旬一時平年に近き氣温を示せる外概して低温に經過し、降水量亦平年に比し多きを示せり。氣候前記の如くなりしを以て、夏收作物は一般に生育順調なりしも、麥類中大麥、裸麥及春播小麥はムギクロハモグリバへの被害あり又秋播小麥は冬枯多かりしを以て減收するに至りしも、其の他は孰れも増收を示したり。秋收作物にありては盛夏の候旱天持續せる爲、畑作物は一般に旱害を認めたるも、玉蜀黍及小豆を除きては收量に及ぼすところ少なく、水稻と共に作況良好なるを得たり。而して玉蜀黍にはアハノメイガ、小豆にはマメノアブラムシ及ハダニの被害甚しく、共に減收を示せり。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶考照試験（水稻、大麥、裸麥、秋播小麥、春播小麥、燕麥、玉蜀黍、大豆、小豆、菜豆、豌豆、馬鈴薯、甜菜、亞麻、秋播菜種）
- 二 品種試験（水稻、大麥、秋播ライ麥、燕麥、蕎麥、高粱、大豆、小豆、菜豆、馬鈴薯、菊芋、亞麻、秋播菜種、春播菜種）
- 三 新品種育成試験（陸稻、大麥、裸麥、大豆、菜豆、馬鈴薯、亞麻、秋播菜種、みぶよもぎ）
- 四 菜豆品種特性鑑定調査
- 五 亞麻品種對播種量試験
- 六 水稻の苗代に關する試験及調査
 - イ 灌水と苗の生育との關係試験
 - ロ 床土の深さと苗の生育との關係試験
 - ハ 障子紙と苗の生育との關係試験
 - ニ 床土の肥料に關する試験
 - ホ 芽出播に關する試験

- 七 障子管理法と苗の生育との關係試験
 - イ 水稻の本田に於ける試験及調査
 - ロ 苗仕立法に關する試験
 - ハ 温床栽培に於ける本田施肥量に關する試験
 - ハ 温床栽培に於ける栽植密度に關する試験
- 八 播種期節試験（陸稻、みぶよもぎ）
- 九 陸稻栽植密度に關する試験
- 一〇 秋播菜種立毛密度對施肥用量試験
- 一一 みぶよもぎ栽植距離試験
- 一二 間作大豆株間距離試験
- 一三 豌豆秋播試験
- 一四 みぶよもぎ生育領域に關する試験
- 一五 みぶよもぎ覆土の深淺に關する試験
- 一六 忽布短柄仕立に關する調査
- 一七 菊芋後作物に關する調査
- 一八 陸稻培土時期試験
- 一九 收穫期試験（菜豆、みぶよもぎ）
- 二〇 適否試験（大麥、芋麻、荏、罌粟、みぶよもぎ、ラベンダー）
- 二一 水稻冷害に關する調査
- 二二 菜豆大福の不發芽と肥料との關係調査
- 二三 水稻新品種の米の理化學的特性に關する調査

二四 耕種法對米の理化學性に關する調査

二五 委託試驗

イ 基礎試驗

- 一 水稻晚熟新品種適否試驗(前田村、伊達町)
- 二 水稻溫床栽培用品種適否試驗(伊達町、厚澤部村、大野村)
- 三 菜豆大福品種選抜試驗(虻田町、喜茂別村)
- 四 亞麻品種比較試驗(留壽都村、幕別村)
- 五 亞麻新品種育成試驗(幕別村)

ロ 應用試驗

- 一 水稻新品種適否試驗 早熟種(熱郭村、狩太村、鷓川村、右左府村、様似村、新得町、鹿追村、豊頃村、留邊藥町、美幌町、瀧ノ上村、天鹽町、遠別村、羽幌町、小平藥村、芦別村、秩父別村、新十津川村、音江村、月形村、北龍村、多度志村、幌加内村、沼田村、雨龍村、上川村、東川村、鷹栖村、江丹別村、士別町、上士別村、劍淵村、下川村、名寄町、風連村、美深町、山部村、美瑛村)
中熟種(上磯町、木古内村、知内村、福島村、七飯村、大野村、上ノ國村、泊村、東瀨棚村、太櫓村、大江村、小澤村、南尻別村、熱郭村、狩太村、惠庭村、當別村、厚田村、厚真村、門別村、三石村、角田村、栗澤村、砂川町、幌向村、岩見澤町、芦別村、秩父別村、新十津川村、月形村、音江村、北龍村、赤平村、羽幌町、苫前村、小平藥村、端野村、下湧別村、永山村、東鷹栖村、神樂村、東旭川村、神居村、當麻村、比布村、愛別村、上富良野村、中富良野村、富良野町)
- 二 陸稻新品種適否試驗(音江村、長沼村、芦別村、北龍村、洞爺村、豊浦村、德舜別村、當別村、新篠津村、知内村、黒松内村、喜茂別村、赤井川村、右左府村、平取村、幕別村、本別町、大正村、山部村、美瑛村、上富良野村、上士別村、劍淵村、留萌町、遠別村、小平藥村、東瀨棚村、太櫓村)

三 秋播大麥適應性調査(伊達町、豊平町、富良野町、中富良野村、上富良野村、女滿別村、網走町)

右の内本年度完了し、農事指導資料として發表せるもの左の如し

一 秋播ライ麥品種選抜試驗

本場、十勝、渡島兩支場、天鹽、稚内、美瑛の三試作場、早來火山灰地試驗地の成績によれば秋播ライ麥「本第一二二六八號」は「在來種」に比し寒害に對する抵抗性強く、出穂、成熟及耐病性等は大差なきも、子實は豊滿大粒にして收量、品質共に優良、特に製麵用として優るを認めたるを以て、新に優良品種に決定「ベトクラーザ」と命名し増殖普及を圖ることとせり。

二 大豆新品種育成試驗

昭和三年十勝支場に於て育成したる「十系二六號」は「本育六五號」を母とし、「毛無大豆」(本第一五〇八號)を父として人工交配を行ひたるものにして、本場、渡島支場、瀨棚、日高兩試作場の成績によれば從來の優良品種「中生裸」に比し成熟期稍遅きも、蟲喰歩合少なく、大粒、良質にして且收量優るを認めたるを以て、新に石狩、日高及渡島支廳管内山越、茅部兩郡地方に適する優良品種に決定、「長葉裸」と命名し、増殖普及を圖ることとせり。

三 菜豆系統選抜試驗

現在栽培せらるる菜豆「虎豆」、「白丸鶉」及「大福」には種々特性の異なるものあるを認めたるを以て、昭和七年以降各地より種子を蒐集調査の結果、其の代表的なるものを選抜し、本場及俱知安試作場に於て試験せるに、「虎豆」(本第一一三〇四號)は同系統に比し稍早熟にして、成熟整一、且菜豆炭疽病に稍強く、子實は長味を有する極大粒にして、收量、品質共に稍優り、「白丸鶉」(俱試第五四一號)は同系統に比し最も早熟にして、收量、品質共に優るを示し、又「早生大福」(本第一一三四二號)は「大福」に比し小形、圓味を帯び、「大福」固有の偏大形を呈せざる缺點あるも、早熟にして收量も亦概して多きを認めたり。而して是等三品種の内「虎豆」及「白丸鶉」は後志、膽振、石狩及空知支廳管内の菜豆蔓性種を栽培し得る地帯の栽培に適し、「早生大福」は「大福」栽培地帯の早期販賣用並に同地帯山間部の栽培に適するを認めたり。

四 亞麻新品種育成試驗

昭和四年「耐菌亞麻」(「南亞麻」)を母とし、「ベルギー三號」を父として人工交配を行ひ育成せるものなり。而して本場、十勝、根室兩支場並に美瑛試作場に於ける試験成績に據れば「本育三五二號」は原莖の收量、品質並に纖維の歩止及正線の品質共に良好にして、且性比較的強健、就中亞麻立枯病に對する抵抗性著しく強きを認めたるを以て、新に本道一圃に適する優良品種に決定「南捷」と命名し、増殖普及を圖ることとせり。

五 水稻温床及冷床苗代に於ける芽出播に關する試験

本場並に北見支場に於ける試験成績に據れば水稻の温、冷床の播種は必ずしも芽出播を必要とせざるも、之を行ふ場合には、種籾を催芽直前乃至催芽直後の状態となして播種せば、芽出播を行はざるものに比し發芽を促進するの效果あるを認めたり。

六 水稻温床苗代に於ける管理法に關係する試験

水稻の温床育苗中に於ける障子管理と苗の生育との間には密接の關係ありて、障子の開閉は其の孰れに偏するも健苗を得難く、良苗を得んが爲には障子は苗の生育、床框内の温度、天候等に應じて適當に開閉し、以て框内温度の調節、換氣に努むると共に、苗を適當に陽光に曝し、或は外氣の低温より保護するの要あるを認めたり。

七 水稻の温床苗代に於ける床土の肥料に關する試験

水稻温床苗代に於て、床土に砂壤土を用ひたる場合は、坪當硫酸アンモニア一五〇瓦、精過磷酸石灰一九〇瓦、硫酸加里七五瓦内外を、又園藝土を用ひたる場合は、砂壤土の場合と等量か、或は夫より二割乃至三割減じたるものを孰れも基肥として施用するを適當と認めたり。

八 水稻苗仕立法に關する試験

本場、四支場、六試作場及早來火山灰地試験地に於て行ひたる試験成績に據れば天鹽及日高試作場の成績稍顯著ならざりし他は概して同様の良成績を示し、各種苗仕立法中温床、簡易温床及冷床苗栽培は、從來慣行の普通苗栽培及直播栽培に比し出穂期並に成熟期早く、莖數稍少なきも草丈、穗長共に長く、收量優るを認めたり。而して温床、簡易温床或は冷床苗栽培による出穂、成熟の促進及收量増加の效果は、早熟種は比較的僅少なるも、中、晩熟種は顯著となる傾向を認め、尙是等

三者間に於ては從來の慣行法に比し温床苗代は出穂、成熟促進の效果最も大にして、簡易温床苗代及冷床苗代之に順次するを認めたり。

九 水稻温床苗栽培に於ける栽植密度試験

本場、北見支場並に美深試作場に於て行ひたる試験成績に據れば、水稻温床苗代に於ける栽植密度は、坪當株數の少なきものは多きものに比し草丈の伸長、穗長及分蘖力優るを示せるも、出穂及成熟期は坪當株數の多きもの程早き傾向あり、又玄米收量は本場の成績に於ては概して正方形植の坪當株數少なくして、一株本數稍多き栽植方法、即ち $\frac{20}{10} \times \frac{20}{10}$ 二本植、 $\frac{20}{15} \times \frac{20}{15}$ 二本植、 $\frac{20}{10} \times \frac{20}{15}$ 二本植、 $\frac{20}{15} \times \frac{20}{10}$ 二本植、 $\frac{20}{10} \times \frac{20}{10}$ 一本植、 $\frac{20}{15} \times \frac{20}{10}$ 一本植、 $\frac{20}{10} \times \frac{20}{15}$ 一本植、 $\frac{20}{15} \times \frac{20}{15}$ 一本植等の優るを認めたり。

二 甜菜に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	數	區	數	面積	積
品種改良に關する試験及調査		七		二〇〇		一五、九五〇
耕種に關する試験及調査		九		五五		三、三〇〇
肥料に關する試験及調査		五		五六		二、九七〇
病害蟲に關する試験及調査		六		六一		一、九八〇
其他の試験及調査		四		六〇		三三〇
委託		一		一二		一一、九〇〇
計		三二		四四四		三六、四三〇

本試験は、本道に於ける甜菜糖業の發達に資せんが爲、優良品種の選擇竝に育成、耕種肥培、病害蟲防除等に關し諸般の試験及調査をなすを目的とす。而して本年の天候は播種後概して適順なりし爲發芽竝に稚苗の生育は順調に進みたるに、七月以後降水量極めて少なく、早天持續せる爲葉の生育著しく抑制せられ局部的に枯死するものを生ぜり。然るに九月に入りては降水量極めて多量にして且高温多照なりし爲新葉再生し、根部は肥大せるも糖分甚しく低かりき。病害蟲に於ては六月下旬より夜盜蟲、七月中旬より甜菜褐斑病等の發生を見たるも被害大ならざりき。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 雜種強勢比較試験
- 二 品種豫備試験
- 三 雜種第二代個體選抜試験
- 四 系統生産力檢定試験
- 五 耐病性系統比較試験
 - イ 母根の選抜
 - ロ 選抜母根の採種
- 六 糖分増加と三條根とに關する調査
- 七 優良品種に關する化學的調査
- 八 品種間に於ける稚苗時の生育と地温、地濕とに關する調査
- 九 生育領域に關する試験
- 一〇 廣狹畦栽培法に關する試験
- 一一 高畦栽培法に關する試験
- 一二 多收法調査
- 一三 採種多收法調査

- 一四 土層の肥沃度と甜菜生育とに關する試験
- 一五 連作試験
- 一六 施肥の深さに關する試験
- 一七 綠肥黃花ルービン及赤クローバー肥效比較試験
- 一八 綠肥赤クローバー跡地の窒素適量試験
- 一九 ルービン跡地の窒素、磷酸、加里配合試験
- 二〇 採種用甜菜の四要素吸收量に關する調査
- 二一 採種對加里用量試験
- 二二 甜菜線蟲根腐病防除試験（病理部と共同方案）
- 二三 甜菜立枯病防除試験（一）、（二）（病理部と共同方案）
- 二四 甜菜褐斑病防除新藥劑に關する調査（病理部と共同方案）
- 二五 砒酸石灰液の夜盜蟲殺蟲效果比較試験（昆蟲部と共同方案）
- 二六 甜菜生育調査
- 二七 甜菜種子の發芽試験
- 二八 甜菜タツピングに關する調査
- 二九 甜菜葉頸乾燥法に關する調査
- 三〇 委託試験
 - イ 地帯別甜菜品種試験（山仁村、清水町、富良野町、八雲町、留壽都村、幌延村、中頓別村、士別町、幕別村、小清水村、別海村、弟子屈村）

三 園藝に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の要左の如し

試験及調査の種類	種類	数	區	數	面	積
品種改良に關する試験及調査		六		八四		三、六一三
耕種に關する試験及調査		七		四六		二、九七三
超短電波利用試験		五		五〇		二、二三三
其他の試験及調査		九		七一		一、一四八
委託試験		二		一九		九、九六七
計		二九		二七〇		

本年は積雪量平年と大差なかりしも、三月下旬急激に融雪せる爲、融雪期は平年に比し十日内外早く三月三十日なりき。而して爾後四月及五月の候著しく高温なりし爲、果樹類の發芽生育著しく促進せられ、各果樹の開花期も一週間内外早かりき。蔬菜類にありても果樹類同様極めて順調なる経過を辿れり。爾後一時五月上旬及六月中、下旬稍低温となりしも、七月中旬より再び高温多照の天候となれり。之が爲各作物共極めて良好なる生育を示せるも、七月中旬より八月下旬迄降水量殆どなく、八月中旬より早魃の状態となり、生育一般に不良に陥りたり。殊に蔬菜中の白菜、大根及セルリー等の如きは早害の爲收量、品質を著しく低下するに至り、果樹にありても梨の如きは落葉するに至り、果實の發育を著しく阻害せられたり。然れども九月に入り天候一變し、平年に比し著しく多雨となり、生育助長せられ、果樹類の如きは之が爲第二次生長を多からしめたり。爾後特記すべきことなく順調なる経過を示せり。而して本年の作況を概括すれば、蔬菜類にありては早魃の影響を被り、一般に減收を來し、果樹類は前年度の天候の關係により着花不足にして收量稍少なかりしも、春季高温なりしと、七、八月の高温乾燥により成熟期著しく促進せられ、品質も亦良好なるを得たり。病害蟲は葉菜類及果樹類に蚜蟲類の發生特に多く、其他ブランコケムシ、リンゴハダニ、大二十八星瓢蟲の發生稍多かりき。

本年度施行せる種類左の如し

イ 蔬菜及花卉に關する試験及調査

- 一 品種選抜試験(玉蜀黍、菜豆、豌豆)。
- 二 セルリー栽培法に關する試験
- 三 アスパラガス收穫期試験
- 四 多毛作試験
- 五 蔬菜施肥法試験
- 六 南瓜整枝法試験
- 七 アスパラガス性對生産力試験
- 八 蔬菜種子貯藏試験
- 九 花卉の種子及品種に關する試験
- 一〇 花卉の採種法に關する調査
- 一一 葱頭の休眠に關する試験(超短電波利用)
- 一二 花卉種子發芽試験(超短電波利用)
- 一三 委託試験
- イ 種子百合取扱法試験(角田村)

ロ 果樹に關する試験及調査

- 一 樹莓品種特性調査
- 二 新品種育成試験(梅、葡萄)

- 三 果樹園土壌管理法試験
- 四 苹果施肥法試験
- 五 砧木比較試験
- 六 苹果藥害に關する試験
- 七 梨交配試験
- 八 苹果の結果歩合増進に關する調査
- 九 苗木定植に關する調査
- 一〇 挿木に關する試験(超短電波利用)
- 一一 果實貯藏に關する試験(超短電波利用)
- 一二 果汁殺菌に關する試験(超短電波利用)
- 一三 委託試験

イ 苹果隔年結果に關する試験(大江村)

四 土性及土地改良に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種	類	數	區	數
系統調査			一		九六
土地改良に關する試験			二		一四
基礎試験及調査			四		一〇
計					

従来の土性調査は土壤區設定の爲其の功程遅々として進捗せず、而も本道の實情は地力増進並に農作物増産の基礎資料を得るの急務なるを認めたるを以て、本年より従来の土壤區設定の方法を改めて土性調査に代へ、土壤系統調査を行ふこととせり。

尙土壤の改良に就き地方的基礎資料を得んが爲、前年に繼續し、土地改良に關する調査及土性調査法に關する基礎試験並に調査を行へり。

イ 外 業

本年度に於ては調査員を宗谷(稚内町及宗谷村)及留萌兩支廳管内に派し、土壤系統調査に従事せしめたり。其の調査面積宗谷支廳管内約二五、〇〇〇町歩、留萌支廳管内約八五、〇〇〇町歩にして、調査の結果二六土壤統を設定せり。

□ 土地改良に關する試験

(イ) 空知支廳管内に於ける土地改良試験

本試験は前年に繼續し、重粘地に於ける総合的土地改良法の實施効果を査察せんが爲、農家の圃場を使用し大面積應用試験を施行せり。

試験施行箇所は次の如し

- 一 空知郡芦別村字野花南 洪積層 埴土
- (ロ) 後志支廳管内に於ける土地改良試験

本試験は前年に繼續し、第二年目に於ける心土改良效果及其の永續性並に排水の効果を査察せんが爲施行せり。

- 試験施行箇所は次の如し
- 一 壽都郡黒松内村字蕨野 洪積層 埴土

右土地改良に關する試験は本年度を以て完了せり。

ハ 土性調査に関する基礎試験及調査

本試験の目的は地力涵養、土地改良等に關する試験事業施行上の基礎資料を得んが爲施行せるものなり。

- 一 稚苗法による土壤有效態養分檢定法に關する調査
- 二 土壤酸性矯正用石灰用量試験

五 土壤肥料に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	數	區	數	面	積
一般試験及調査		九		一四八		二、二〇〇 <small>平方米</small>
土壤に關する試験及調査		三〇		五〇〇		九、〇〇〇
肥料に關する試験及調査		二		一六		一、〇〇〇
ライシメーターに關する試験及調査		一〇		一〇〇		一、〇〇〇
委託試験		七		一四八		一、〇〇〇
施肥標準調査		七		一四八		一、〇〇〇
施肥標準に關する試験及調査		七		一四八		一、〇〇〇
特殊原野開發指導試験		三		一		一、〇〇〇
特殊原野開發に關する試験及調査		三		一		一、〇〇〇
計		六一		九一二		一、二〇〇

本試験は地力の維持増進を圖らんが爲土壤の管理、肥料の種類等に關する試験及調査を行ふを目的とす。本年度施行せる種類左の如し

イ 一般試験及調査

- 一 水稻對三要素試験
- 二 水田有機物減耗試験
- 三 地力減耗試験
- 四 石灰と地力關係試験
- 五 堆肥、硫酸アンモニア配合關係と地力増進に關する試験
- 六 耕鋤深淺及施肥量と地力關係試験
- 七 堆肥、綠肥所含三要素の肥效に關する試験
- 八 綠肥作物の肥效に關する試験
- 九 黃花ルービン鋤込時期による肥效比較試験
- 一〇 北海道東北六縣連絡新肥料肥效試験
- 一一 石灰窒素施用期試験
- 一二 水稻品種の肥料三要素成分特需量に關する試験
- 一三 ルーサン追肥試験
- 一四 ライシメーターに關する試験
- 一五 イ 各種土壤對肥料漏洩量査定試験
- 一六 ロ 施肥法と地力關係試験
- 一七 十勝高丘地、地力増進に關する試験

- 一六 甜茶品種對窒素特需量に關する試験
- 一七 甜茶對土壤酸性矯正試験
- 一八 甜茶對水素イオン濃度試験
- 一九 甜茶對酸性矯正の深さに關する試験
- 二〇 雨雪水の窒素天然供給量調査
- 二一 綠肥栽培跡地に於ける土壤腐植に關する調査
- 二二 連作に關する調査
- 二三 氣候狀態を異にする本道各地に於ける水稻肥料三要素成分吸收量調査
- 二四 膽振火山灰系統腐植土に關する調査
- 二五 泥炭土に對する石灰の適量に關する調査
- 二六 委託試験

イ 本場にて監督施行せしもの

一 綠肥用黃花ルービン肥效試験(馬鈴薯)

幌加内村、狩太村、利別村、黒松内村、白老村、弟子屈村、斜里町、雄武村、苦前村、中頓別村

□ 施肥標準調査

一 植木鉢試験

イ 三要素試験(水稻、燕麥)

土壤採集箇所

本場、南尻別村(九箇所)、磯谷村、幌向村、北村、江部乙村、芦別村、瀧川町

ロ 窒素質肥料肥效試験(水稻、燕麥)

土壤採集箇所

本場、美唄町、芦別村

二 現地試験

イ 三要素試験(水稻、燕麥、大豆)

試験施行箇所

本場、八雲町、樽岸村、芽室村、豊頃村、湊別村

ロ 窒素質肥料肥效試験(水稻、燕麥)

試験施行箇所

本場、南尻別村(三箇所)、芦別村、美唄町、芽室村、豊頃村、湊別村

ハ 堆肥對三要素用量試験(水稻)

試験施行箇所

江部乙村、瀧川町、南尻別村

ニ 肥料配合試験(水稻、燕麥、馬鈴薯)

試験施行箇所

新篠津村、美唄町(二箇所)、黒松内村、利別村、東瀬棚村(二箇所)、太櫓村、森町、泊村、白老村、穂別村、鵠

川村、苦前村、小平薬村、天鹽町、頓別村、枝幸村、猿拂村、稚内町、紋別町、標茶村、弟子屈村、

右の内本年度完了し、農事指導資料として發表せるもの左の如し

一 植木鉢三要素試験

幌向村、北村、江部乙村、芦別村、瀧川町、美唄町

二 現地三要素試験

八雲町、樽岸村、芽室村、豊頃村、湊別村

三 現地肥料配合試験
 新篠津村、美唄町(一箇所)、黒松内村、森町、泊村、白老村、鶴川村、天鹽町、頓別村、歌登村、猿拂村、紋別町、標茶村、弟子屈村

ハ 特殊原野開發指導試験

本試験は前年に繼續し、膽振國吉小牧町厚真村鶴川村一帯に亙る所謂勇拂原野、釧路國鳥取村に於ける鳥取原野及天鹽國幌延村に於けるサロベツ原野の開發に關する基礎資料を得んが爲、苦小牧試驗地(勇拂郡苦小牧町字一本松)に於ては本場と早來火山灰地試驗地と共同監督の下に、各種作物の適否、耕鋤法、三要素、肥料用量、防風效果、播種期等に關する試験と氣象に關する調査を、釧路試驗地(釧路郡鳥取村字鳥取)に於ては釧路試作場と共同監督の下に、各種作物の適否、客入土壌の種類、客土時期、三要素に關する試験並に排水、新墾當初に於ける肥培法、牧野造成、氣象に關する調査を、幌延試驗地(天鹽郡幌延村字下沼)に於ては天鹽試作場と共同監督の下に、各種作物の適否、客土時期、三要素、地力推移に關する試験並に排水、開墾法、氣象に關する調査を施行せり。

六 病理に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	數	區	數	面積	積
病害に關する試験		五		五六		二、三二四
病害に關する調査		一三		一五四		三、一二四
病害に關する委託試験		五		一三四		五、四三八
計		二三		三四四		

本試験は、本道重要農作物に對する主なる病害に就き、緊要なる諸般の事情を闡明し、以て病害防除の資料を得るを目的とす。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 小麦赤黴病防除試験
- 二 小麦萎縮病と品種との關係試験(十勝支場にて施行、同場と共同方案)
- 三 甜菜立枯病防除試験(一)(甜菜部と共同方案)
- 四 甜菜立枯病防除試験(二)(甜菜部と共同方案)
- 五 甜菜線蟲根瘤病防除試験(甜菜部と共同方案)
- 六 稻苗腐敗病防除調査
- 七 麥類赤黴病と麥類品種との關係調査
- 八 馬鈴薯凋萎病に關する調査
- 九 採種用甜菜の甜菜蛇眼病に關する調査
- 一〇 馬鈴薯疫病に對する粉劑撒布に關する調査
- 一一 甜菜褐斑病防除新藥劑に關する調査(甜菜部と共同方案)
- 一二 瑞典燕菁白腐病防除に關する調査
- 一三 洋梨細菌病に關する基礎調査
- 一四 農作物連作地病害に關する調査
- 一五 本道農作物重要病害に關する調査
- 一六 線蟲根瘤病藥劑防除調査
- 一七 線蟲の生態に關する調査
- 一八 病害分布調査(特用作物、飼料作物、綠肥作物)

一九 委託試験

- イ 燕麥冠狀銹病と品種との關係試験(湊別村、西足寄村)
- ロ 大豆品種と大豆萎縮病との關係試験(厚澤部村)
- ハ 大豆萎黃病と石灰窒素との關係試験(厚澤部村)
- ニ 大豆萎黃病と間作との關係試験(厚澤部村)
- ホ 大豆萎黃病と輪作との關係試験(厚澤部村)

右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し

一 甜菜受入地集積土壤根瘤線蟲密度調査

甜菜受入地受入所に於ける集積土壤に就き根瘤線蟲の密度を知らんが爲調査を行ひたるに、無被害と認むべきは僅に七箇所に過ぎず、其の他は極めて危険なる状態を示し、密度の稀薄なる土壤も施入後年を経るに隨ひ病害の激甚となるは明白なるを以て、線蟲根瘤病傳播豫防上施入を避くるを可とするも、萬一施入したる場合は少なくとも二箇年間禾本科作物を輪作するを要す。

二 昭和十三年本道に發生せる特に注意すべき病害に關する調査

昭和十三年は春季以來天候概して順調に進行せるも七月中旬以降晴天持續し十勝、釧路國、根室支廳管内等の一部を除き全道的に稀有の旱魃を招來せるを以て、病害の發生蔓延は概して僅少なりしが、九月以降降雨至るに及び各地に穂首稻熱病の發生を見、又一面旱魃に伴ひ馬鈴薯葉先枯損、馬鈴薯夏疫病、蕃茄果頂腐敗病等の特殊病害の發生多きを見たり。而して本年新に空知、石狩支廳管内に於て發見せられたるものに馬鈴薯黒色心腐病あり。又地方的に著しき被害を與へたるものは日高支廳管内に稻苗腐敗病、渡島及檜山支廳管内に玉蜀黍斑葉病、十勝支廳管内に菜豆菌核病、十勝支廳管内に豌豆露菌病、渡島、檜山及十勝支廳管内に馬鈴薯疫病、石狩支廳管内にみぶよもぎ線蟲根瘤病發生せしも、恐らくは上川、其の他の地方にも發せるものと考へらる。瑞典燕菁白腐病は根室、釧路國及十勝支廳管内に、瑞典燕菁根瘤病は釧路國及石狩支廳管内に發生多かりき。

七 昆蟲に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	數	區	數	面積	積
害虫に關する試験		二		六二		
害虫に關する調査		二二		一		
委託試験		二		一七		
計		二六		七九		

備考 一 害虫に關する試験中、一試験二六區は甜菜部と共同方案の下に施行せるものなり。
 二 面積を示さざるは圃場試験の外に室内試験を含み、通算し難きに依る。尙調査の區數を示さざるは、區を設け難き調査をも含み通算し難きに依る。

本試験は、本道重要農作物に對する主なる害虫並に其の益蟲に就きて試験及調査を行ふを目的とす。

- 一 殺菌量及時期の差異による燻蒸劑殺菌效果試験
- 二 砒酸石灰液の夜盜蟲殺菌效果比較試験(甜菜部と共同方案)
- 三 重要害虫飼育調査
- 四 害虫分布調査(特用作物、飼料作物、綠肥作物)
- 五 二化性螟蟲に關する調査
- 六 稻泥負蟲に關する調査
- 七 稻泥負蟲寄生蜂に關する調査

- 八 葉潜蠅に關する調査
- 九 コガネムシに關する調査
- 一〇 針金蟲に關する調査
- 一一 大豆莢蠹蟲に關する調査
- 一二 豌豆莢蠹蟲に關する調査
- 一三 豌豆象蟲に關する調査
- 一四 甜菜害蟲に關する調査
- 一五 薄荷害蟲に關する調査
- 一六 クローバータネコバチに關する調査
- 一七 櫻桃實蠅に關する調査
- 一八 苹果葉蟬に關する調査
- 一九 葱頭スリップスの天敵移入に關する調査
- 二〇 苹果綿蟲寄生蜂に關する調査
- 二一 殺蟲竝に驅蟲劑に關する調査
- 二二 ヒツジシラミバへに關する調査
- 二三 サシバへに關する調査
- 二四 本道重要害益蟲に關する調査
- 二五 委託試験
 - イ 豌豆莢蠹蟲防除試験(美瑛村)
 - ロ 櫻桃實蠅防除試験(増毛町)

右の内本年度一部完了し、農事指導資料として發表せるもの左の如し

- 一 苹果葉蟬の生體竝に防除劑に關する調査(苹果葉蟬に關する調査の一部)

苹果葉蟬の自然状態に於ける移動に就き調査せるに、風下三〇米の距離までも檢出せるが、一〇米内外に最も多く、而も成體よりも幼生遙に多きを以て、本蟬は風と共に容易に傳播する可能性あり、隨つて之が防除に當りては、共同的に廣面積に亙りて行ふ要あるを認め、又前年有效と認めたる機械油乳劑は、早春撒布よりも寧ろ晩秋撒布を有效とし、夏季撒布には接觸中毒劑にても有效なりと雖も、石灰硫黄合劑の効果特に顯著なるを以て、實用上後者に據るを得策と認めたり。
- 二 展着劑に關する調査(殺蟲竝に驅蟲劑に關する調査の一部)

カゼイン石灰の代用品として最近農林省農事試験場が公表せる大豆粉の價値に就き知らんとして調査せるに、砒酸鉛液に添加せる場合の理學性は、沈降速度竝に擴展面積共に大豆粉はカゼイン石灰と略同様なりしも、植物性カゼイン石灰稍劣り豆乳著しく劣り、夜盜蟲を供試せる場合の殺蟲效果に及ぼす影響はカゼイン石灰を用ひたるものと、大豆粉、豆乳又は植物性カゼイン石灰を用ひたるものとの間に大なる差異なく、隨つて大豆粉はカゼイン石灰に代用して使用し得るものと認めたり。
- 三 砒酸石灰の藥害竝に殺蟲效果に關する調査(殺蟲劑に驅蟲劑に關する調査の一部)

砒酸石灰の應用範圍を知らんが爲行ひたる本調査に據れば、薄荷及薄荷の外蒔稜草、蒿苳、塘蒿、白菜、甘藍、二十日大根、蕃茄、西瓜、甜瓜等九種の蔬菜は本劑單用又はボルドウ合劑に混用して撒布するも何等藥害を惹起することなく、又生育にも障害を及ぼすことなく、殺蟲效果に關してはヨウウガ幼蟲に對し、本劑は砒酸鉛に比し多少速効性なるも死蟲率稍劣り、食葉率稍高く、隨つて殺蟲效果劣るも、甜菜に對しては藥害なきを以て、時局下において砒酸鉛に代用し得べく、ヒメビロウドコガネ成蟲に對しては砒酸石灰は砒酸鉛と效果相伯仲しハクカチビノミハムシ成蟲に對しては、砒酸石灰は砒酸鉛に比し遙に有效、ハクカハムシ成蟲に對しては兩者の殺蟲力に大差なきも、砒酸石灰は稍速効性なるを以て、砒酸鉛よりも寧ろ有效となすべく、ヒトリガ幼蟲に對しては砒酸石灰は砒酸鉛に稍優るものの如く認めたり。
- 四 リンゴコフキハムシ成蟲に對する各種接觸中毒劑效果比較調査(殺蟲竝に驅蟲劑に關する調査の一部)

リンゴコフキハムシ成蟲に對する各種接觸中毒劑の效果を比較せるに、ピレトリン系の除蟲菊石鹼液は、ニコチン系竝に

ロテノーン系のものに比し効果優るを以て、該蟲が苹果の稚果を害する處あるときは、稍濃厚なる除蟲菊石鹼液を撒布するを有效なりと認めたり。

五 ヒツジシラミバへに關する調査

ヒツジシラミバへに對する有効適切なる緬羊藥浴劑を査定せんとして、各種藥劑に對するヒツジシラミバへの抵抗力比較調査をなせるに、除蟲菊石鹼液を使用するの最も有效なるを認めたるを以て、更に除蟲菊石鹼液の適當なる割合に藥浴時間につき、室内及實地に調査を重ねたるに、藥液の濃度は水一斗に對し除蟲菊粉二〇匁、石鹼一〇匁の割合を適當とし、藥浴時間は一分以上二分迄を安全有效なりと認めたり。

六 サシバへに關する調査

從來本道に於て家畜に有害なる吸血性蠅類として、サシバへ一種を知りしのみなりしが、本年調査の結果、更に歐米に普通なるノサシバへを産し、而も本種は道内各地に相當廣く分布し、前種と共に可なり著しき吸血害を與へつつあるを認めたり。

七 昭和十三年本道に於て發生せる特に注意すべき害蟲に關する調査(本道重要害益蟲に關する調査の一部)

昭和十三年の氣候は春季以來概して適順なりしを以て、各種の害蟲交々發生し、而も本年新に害蟲として知らるるに至れる種類尠からず、又地方的に著しき被害を與へたるものもありき。温床苗に對するシヨウブオホヨクウ、麥類に對するヒメルリクビボソハムシ(麥泥負蟲)、赤クローバーに對するクロローバータネコバチ、萊蕪、菘菜等に對するヒメダイコンバへ、蠶豆に對するソラマメザウムシの如きは前者の例にして、十勝、釧路國兩支廳管内に於けるスゲドクガ、根室、釧路國、網走、十勝、後志、日高支廳管内に於けるヒメサクラコガネ、若はスチコガネ、十勝支廳管内に於けるハネナガフキバツタの如きは後者の著例なりとす。

八 農具に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の大要左の如し

試験及調査の種類	種類	數	區	數	面積	積
農具に關する試験及調査		四		一六		

本試験は各種農具の實用的價值を比較調査し、之が合理的なる使用法を考究し、以て農具の改良發達を圖り普及に努むるを目的とす。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 簡易水車に關する試験
 - 二 赤クローバーの脱粒に關する試験
 - 三 依頼農具に關する調査
 - 四 農具に關する比較審査
- 右の内本年度に於て完了し、農事指導資料として發表せるもの左の如し

一 赤クローバー脱粒に關する調査

赤クローバー種子脱粒の難易竝に功程は供試材料、試料供給方法の巧拙等により影響あるも、毎時功程及毎時馬力當脱粒量に於て岩田式剝穀機最も優り、尾上式肥料粉末機之に亞ぐを示し、飼料粉碎機は臼部の摩耗せるもの脱粒歩合高く且種子の損傷少なきを認めたり。而して飼料粉碎機は使用法を誤れば種子の損傷著しく増大せしむるを以て、使用前臼部の間隙を適當に調節するを要す。

二 小型水力タービンに關する調査

農業用原動力として小型水力タービンの設備費、運轉經費、出力調査、毎時馬力當運轉經費等を調査せり。

九 蠶桑に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積及蛾數
栽桑に關する試験及調査		一		四	八〇〇 _{平方米}
育蠶に關する試験及調査		三		二九	一八〇 _箱
計		四		三三	

本試験は養蠶經營上必要なる桑樹の合理的栽培並に蠶品種に關する試験及調査を行ふを目的とす。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 桑樹對酸性土壤矯正試験
- 二 蠶品種特性調査
- 三 蠶一代交雜種比較試験
- 四 自然状態に於ける蠶卵胚子の發育程度調査

一〇 農産加工に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積
農産加工に關する試験及調査		一		九〇	
酒精原料用馬鈴薯乾燥貯藏に關する試験		七		三三	
農家の食糧に關する調査		一		一一	
計		九		一二	

本試験は本道主要農産物に對する合理的加工並に利用法に關する試験及調査、無水酒精原料用馬鈴薯の冷凍乾燥に關する基礎的試験を行ふを目的とす。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 罐詰原料茶豆品種試験
- 二 罐詰原料菜豆收穫期試験
- 三 菜豆罐詰原料處理法試験
- 四 菜豆罐詰殺菌法試験
- 五 菜豆罐詰注入液試験
- 六 梨罐詰原料處理法試験
- 七 梨罐詰殺菌法試験
- 八 梨罐詰注入糖試験
- 九 酒精原料用馬鈴薯乾燥貯藏に關する試験
 - イ 冷凍乾燥用馬鈴薯品種適否試験
 - ロ 冷凍開始適期試験
 - ハ 原料生薯剝皮試験
 - ニ 簞棚上堆積量に關する試験
 - ホ 冷凍薯冷藏法（氷解期迄）に關する試験
 - ヘ 生薯切斷後冷凍乾燥試験
 - ト 乾燥馬鈴薯貯藏に關する試験
- 一〇 農家食糧に關する調査
- 一一 主要農産物の理化學的性状に關する調査（黍）

- 一二 果實、蔬菜の加工利用に関する調査
- 一三 超短電波の利用に関する調査

一一 畜産に関する試験及調査

イ 飼料作物に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	数	區	數	面積	積
品種改良に関する試験		一一		二〇六		一九、七五五 <small>平方米</small>
耕種に関する試験及調査		一一		二二一		二、〇八八
其他の試験及調査		一		一五		六、〇〇〇
計		二三		四四二		二七、八四三

本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種選抜試験(飼料用玉蜀黍、稗、牧草、飼料用根菜類)
- 二 新品種育成試験(飼料用玉蜀黍、赤クローバー)
- 三 適否試験(アルサイククローバー、リードキヤナリグワッス、葉菜類、青刈作物)
- 四 牧草更新年限に関する試験及調査
 - イ 生存年限に関する調査
 - ロ 收穫期に関する試験
 - ハ 收穫回数に関する調査

五 赤クローバー採種に関する試験及調査

- イ 蜂による受精に関する調査
- ロ 蜜を利用する蜂の種類に関する調査
- ハ 結實に及ぼす土壌の肥瘠に関する試験
 - ニ 二番草の開花、結實に関する試験
 - ホ 栽植距離と結實に関する調査
 - ヘ クローバー類の採種量に関する調査

六 飼料用玉蜀黍生育調査

七 飼料用ビート對窒素質肥料肥效比較試験

八 牧草乾燥に関する試験

右の内本年度完了し、農事指導資料として發表せるもの左の如し

一 飼料用玉蜀黍品種選抜試験

飼料用玉蜀黍の特性、收量等を比較し埋藏飼料用として適する良品種を選抜せんが爲「エロロデントコーン」外三一品種に就き試験せるに、「ツイイヤ」は従來の優良品種「エロロデントコーン」或は一般栽培品種「岩手縣産黄色種」に比し優れるを以て、埋藏飼料として本道中央部以南に適する限定優良品種とし、乾飼草用としては其の他の地方に於ても栽培し得るを認めたり。

二 飼料用ビート品種選抜試験

本場外四支場、一試験地、四試作場にて飼料用ビートの特性、收量等を比較し本道各地に適する良品種を選抜せんが爲行ひたるに、「パイレストリーネ」は水分含量多く貯藏力劣るも、茶根收量並に乾物量の生産多く、短期貯藏用として利用するに適し、「シュガーマンゴールド」は地方により「パイレストリーネ」に比し收量劣るも、「マリエンリスト」に比し茶根收量並に乾物量の生産多く、且貯藏力に富むを以て、兩品種共本道一圓に適する優良品種に決定せり。

□ 家畜飼養に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	数	区	数	面積	積
飼養管理に関する試験及調査							二二〇
飼料に関する試験及調査							二
其他の試験及調査							二二二
計			二	一	一		二二二

本年度施行せる種類左の如し

- 一 飼料の分析
- 二 埋藏飼料に関する調査
 - イ 夏季に於ける牧草埋藏法に関する調査
 - ロ 安平村に於けるサイロに関する調査

ハ 牧野に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	数	区	数	面積	積
牧野土壤に関する試験及調査							一〇〇
牧野植生に関する試験及調査							一〇、〇〇〇
計			一	一	一		一〇、〇〇〇

牧野利用に関する試験及調査	種類	種類	数	区	数	面積	積
計			三	一	一		一〇、一〇〇

本年度施行せる種類左の如し

- 一 牧野主要植物と土壤に関する調査
- 二 牧野地造成に関する試験及調査
 - イ 肥料用量試験
 - ロ 牧草の特性調査
 - ハ 牧草混播に関する調査
 - ニ クローバー類根瘤菌接種の効果に関する試験
- 三 野草の栄養價值に関する調査
- 四 本道に於ける牧野利用状況に関する調査

ニ 家畜衛生に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	数
仔馬病に関する試験及調査			一
牛の傳染性流産に関する調査			一
計			二

本年度施行せる種類左の如し

- 一 仔馬病原菌に關する試験及調査
- 二 札幌附近に於ける畜牛の傳染性流産菌（バング菌）保菌に關する調査

ホ 畜産加工に關する試験

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験の種類	種類	類	數	區	數
チーズに關する試験			二	二	二
計			二	二	二

本年度施行せる種類左の如し

- 一 各種チーズの製造技術に關する試験（グッダチーズ）
- 二 簡易チーズ製造に關する試験（コテージチーズ）

一二 農業經營に關する試験及調査

イ 農業經營試験

本試験の目的は従來の各種試験及調査の成績を綜合して、各主要農業地帯に對し適當なる農業經營法を立案し、農家をして之を實施せしめ、其の收支經濟並に日常生活の實情を明にすると共に、漸次改善を加へて地方的模範農場たらしめ、以て農業經營改善の資に供せんとするにあり。而して本年度は従前に引續き十勝國幸震外一六箇所の農場に就き施行し、各監督場に於て其の年に於ける作物作況、收量並に現金の收支を取纏め更に本場に於て經營全般に互る検討を行ひたり。北見國紋

別郡雄武村に面積十五町歩の畑作混同經營試験農場を新設し、入地者の選定を行ひたり。

本年度施行せる農業經營試験左の如し

名	稱	所在地	擔當者	監督場名	經營種類	經營面積	事業開始年次
(第二期拓殖計畫に依り設置せるもの)							
北海道農事試験場幸震經營試験農場		十勝國河西郡大正村字幸震	森志希留	十勝支場高地試験地	混同經營	一七・〇〇	昭和二年
北海道農事試験場中標津經營試験農場		根室國標津郡標津村字中標津	高橋敏一郎	根室支場	主畜經營	一五・〇〇	同 二年
北海道農事試験場上斜里經營試験農場		北見國斜里郡斜里村字上斜里	關口峰二	北見支場	混同經營	一五・〇〇	同 二年
北海道農事試験場利別經營試験農場		後志國瀬棚郡利別村字神丘	渡邊重貞	瀬棚試作場	同	一〇・〇〇	同 六年
北海道農事試験場喜茂別經營試験農場		釧路國虻田郡喜茂別村字中喜茂別	吉田 實	俱知安試作場	同	一八・〇〇	同 七年
北海道農事試験場沼川經營試験農場		北見國宗谷郡稚内町字沼川	濱本喜八	稚内試作場	主畜經營	一九・〇〇	同 八年
北海道農事試験場長萬部經營試験農場		釧路國山越郡長萬部村字追込	寺島義美	渡島支場	同	二〇・〇〇	同 九年
北海道農事試験場幌延經營試験農場		天鹽國天鹽郡幌延村字下沼	見延傳七	天鹽試作場	混同經營	二三・〇〇	同 十年
北海道農事試験場上士幌經營試験農場		十勝國河東郡上士幌村字上士幌	戸水正信	十勝支場	同	二〇・〇〇	同 十二年
北海道農事試験場美唄經營試験農場		石狩國空知郡美唄町字茶志内原野	齋藤義平	美唄泥炭地試験地	同	一五・〇〇	同 十二年
北海道農事試験場熱帯經營試験農場		後志國歌來郡熱帯村字赤井川	富木 清	俱知安試作場	同	一五・〇〇	同 十二年
北海道農事試験場鶴居經營試験農場		釧路國阿寒郡鶴居村	菅谷亥之助	釧路試作場	主畜經營	二〇・〇〇	同 十二年

名	稱	所在地	擔當者	監督場名	經營種類	經營面積	事業開始年次
北海道農事試験場早來第一經營試驗農場		膽振國勇拂郡安平村字早來	寺島 弘	早來火山灰地試驗地	混同經營	一〇〇〇町	大正三年
北海道農事試験場早來第二經營試驗農場		同	瀨谷竹千代	同	同	五〇〇町	昭和三年
北海道農事試験場早來第三經營試驗農場		同	西川政二	同	主畜經營	五〇〇町	同 三年
北海道農事試験場野付牛經營試驗農場		北見國常呂郡野付牛町	江頭作藏	北見支場	穀菽經營	水田 三〇〇町 細其他 一六〇町	同 四年
北海道農事試験場永山經營試驗農場		石狩國上川郡永山村	齊藤留五郎	上川支場	同	水田 三三〇町 細其他 一〇〇町	同 五年

農業經營模範

本試験の目的は北海道農事試験場試験作場に於て當該試作場並に本、支場従来の試験及調査の成績を綜合し、且所在地方の實情に鑑み、其の地方に最も適應せる農業經營法を立案し、農家をして之を行はしめ、其の收支經濟並に日常生活の實情を明にし、以て地方農業經營法の指針たらしめんとするにあり。而して本年度は従前に引續き、天鹽試作場の外五箇所の農場に就きて施行し、各監督場に於て其の年に於ける作物作況、收量並に現金收支を取纏め、更に本場に於て經營全般に互り検討を行ひたり。

本年度施行せる農業經營模範左の如し

名	稱	所在地	擔當者	監督場名	經營種類	經營面積	事業開始年次
天鹽試作場經營模範農場		天鹽國天鹽郡天鹽町字川口	須藤作太郎	天鹽試作場	混同經營	水田 七〇〇町 細其他 一〇〇町	昭和三年
日高試作場經營模範農場		日高國靜内郡靜内町	前川 繁一	日高試作場	穀菽經營	水田 四〇〇町 細其他 三〇〇町	同 三年
瀨棚試作場經營模範農場		後志國瀨棚郡利別村字神丘	鈴木 二郎	瀨棚試作場	同	水田 三〇〇町 細其他 一九〇町	同 六年



農業經營改善

本試験の目的は従来の各種試験の成績を綜合し、各主要農業地帯に對し、其の所在地に於て實地農業に従事しつつある農家に委託し、適當なる農業經營法を實施せしめ、漸次改善を加へて地方的模範農場たらしめ、以て農業經營改善の資に供せんとするにあり。而して本農場は各經營者に於て其の年に於ける成績を取纏め、更に本場に於て經營全般に互る検討を行ひたり。

本年度施行せる農業委託經營左の如し

名	稱	所在地	擔當者	監督場名	經營種類	經營面積	事業開始年次
北海道農事試験場岩尾別經營改善農場		膽振國虻田郡俱知安町字岩尾別	安達 勇	俱知安試作場	混同經營	二六・九七町	昭和七年
北海道農事試験場利別經營改善農場		後志國瀨棚郡利別村字日進	田島市太郎	瀨棚試作場	同	二七・〇〇町	同 三年
北海道農事試験場羽幌經營改善農場		天鹽國苫前郡羽幌町字築別高台	越智卯平	天鹽試作場	同	一〇〇〇町	同 三年
北海道農事試験場幕別經營改善農場		十勝國中川郡幕別村字猿	折笠久五郎	十勝支場	同	三〇〇〇町	同 三年
北海道農事試験場沼田經營改善農場		石狩國雨龍郡沼田村字沼田炭鑛農地	塚八卯太郎	本場	同	一〇・六二町	同 十二年

以上の各試験は部分的には早魃の害を被りしも、各地共に本年の氣候は概して適順なりしを以て、豫期の成績を擧げ、且合理的なる經營法と、適切なる耕種技術の運用とに依り、農業經營法改善の効果を示し、地方農家を啓發せるところ尠からざりき。尙幕別經營改善農場に於ては、前擔當者死亡せる爲現擔當者に變更せり。

第二普及事業

一 教習生の養成

本年度養成せる教習生左の如し
 農業實習生 四〇名 (二年生二〇名、一年生一六名、陸軍現役服務中のもの四名)
 農業練習生 四二名 (男子二八名、女子一四名)

二 印刷物の刊行及配付

本年度刊行及配付せる印刷物左の如し

種別	刊行部	配付部
報時彙計	六四、〇〇〇	一九
其の他報告	三四、〇〇〇	四〇一
	六七、〇〇〇	六二、七三八
		四、二〇五
		六七、三六三

三 見本作

試験に屬せざる各種農作物を栽培し、又綠肥作物、飼料作物、特用作物、桑、觀賞用灌木、果樹、蔬菜並に花卉等の見本園を設置し、試験施行上の豫備的調査を行ふと共に參觀者に供覽せり。

四 種苗の配付

本年度配布せる種苗の種類及數量左の如し

種類名	配付數量	種類名	配付數量
水陸大	一、七四五 <small>五</small>	小豆	二、七
播	三〇九・二	菜豆	一二四・四
秋播	二二・二	豌豆	一・二
春播	一一三・六	薯蕷	一五・八
燕麥	五七七・七	菜	二、八一七・〇
燕麥	五、〇五六・八	麻	四七二・五
燕麥	二二・五	荷	一・三
蜀黍	三二・三・八	種	五二・一
玉蜀黍	〇・七	種	二・〇
大粟	一・六	豆	八・五
粟	一・六	豆	八・四
大豆	二九・四	菊	〇・二
		除	
		肥	
		播	
		播	
		大	
		菜	
		菜	
		鐘	
		鈴	

果樹苗木	八一本	草	八〇〇株
葡萄苗木	二五	花卉種苗、矢車草其他	一〇〇株
葡萄挿穂	二〇〇	ダ	五〇〇株
蔬菜種子、甘藍其他	三〇	芍	七〇〇株
メロン	一九〇		

右の外、緑肥作物及荳科作物の根瘤菌を培養し、全道郡市町村農會竝に農家希望者へ無償を以て配付せる數量は、黄花草イピン用根瘤菌硝子瓶入一〇、五五〇本及試験管入二、〇五〇本、ルーサン、クローバー、大豆、小豆、菜豆、豌豆、コンモンベツチ等の根瘤菌は試験管入五〇本なり。

五 農事指導

本年度講習講話會、其の他により指導を行ひたるもの左の如し

區別	回数	摘要
講習講話會	三一	
協議會	五一	
品評會	一四	
實地指導會	一九	
其他	二二	
計	一三七	

六 質疑應答

本年度質疑應答せるもの六八四件なり。

七 依頼分析

本年度に於て依頼を受け分析を行ひたるもの左の如し

區別	件数	成分	数
土肥	九九		二七
肥料	五八		三九八
農作物	四七		一一六
飼料	五		二七
糖	二		五七〇
水	一		一一
農業	二		二
産業	二		二
計	二二三		一、一五四

八 種苗の鑑定

本年度依頼を受け鑑定をなせるは蔬菜種子葱頭外九件なり。

九 參觀人

本年度の參觀人總數は一〇、三八七名なり。

第三 其の他

一 出張

本年度に於て農事指導、調査及事務打合、其の他の爲場員の出張せる状況左の如し

區	別	回数	延日	數
技 農 屬 技 農 技	師 師	一 三	三	五 四〇
林	技	三 七	七	一 九 九
農 技 屬 技 農 技	手 手 補 手	二 四	八	九 三
農 技 屬 技 農 技	林 主 事	一 七	八	九 四 四
農 技 屬 技 農 技	林 主 事	一 四	七	一 九
農 技 屬 技 農 技	手 手	八 二	二	六 一
農 技 屬 技 農 技	手 手	七 二	二	四 〇 七
農 技 屬 技 農 技	其 他			二 九 〇

二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件數左の如し

區	別	件數	摘要
發 送	送	二、一四二	普通文書及親展文書を含む
接 受	受	二、三五二	同 右

三 其の他

試験圃の造成改良及整理をなせり。

美唄泥炭地試験地

第一 試験及調査

一 種藝に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	数	區	面積	積
豊凶考照試験		一〇		二〇	一、二〇〇
品種改良に関する試験及調査		八		一一六	二、四二〇
耕種に關する試験及調査		三		四二	四七〇
其他の試験及調査		三		六	一五〇
計		二四		一八四	四、二四〇

本試験は高位泥炭地の改良に伴ひ各種作物の適否、耕種肥培等に關する試験及調査を行ふを以て目的とす。而して本年は平年に比し融雪期一〇日早く、四月九日之に達したり。四月中旬の後半以降は概して適順なりしを以て、各作物共適期に播種することを得、發芽の状況亦良整のもの多く、五月中、下旬に互り二回の結霜ありしも、發芽初期の燕麦は稍生育を阻碍せられたる外被害僅少なりき。其の後六月上旬の後半以降天候乾燥に失し、中旬に入りては著しく低温となり、六月十九日に結霜を見る等天候適順を缺きたるを以て、各作物共生育一般に抄々しからざるを示したりしも、下旬に入り適濕を得生育

著しく進捗するに至れり。然るに七月中旬の後半以降稀有の乾燥の天候持續するに及び、夏收作物は一般に稍急激に成熟を見たる嫌ありしも、原土地の豌豆の特に影響大なりし外は差したることなかりき。然るに秋收作物は一般に生育抄々しからず特に原土地のもの影響大なるを示し、八月下旬に至りて漸く適濕を得生育著しく進捗し、馬鈴薯は早期に莖葉枯凋期に達し小豆も挽回するに至らず、九月に入りては高温なりしも連日豪雨あり、客土地のものは作況佳良なりしも、原土地のものは著しく不振なるを示したり。而して收量は客土地に於ては夏收作物は孰れも増收にして、秋收作物は馬鈴薯、小豆の稍減收なりし外は増收のもの多く、原土地に於ては夏收作物は豌豆の特に劣りし外は平年並乃至は平年以上のもの多きも、秋收作物は孰れも著しき減收を示したり。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶考照試験(秋播小麦、秋播ライ麦、燕麦、玉蜀黍、大豆、小豆、菜豆、豌豆、馬鈴薯、秋播菜種)
 - 二 品種試験(陸稻、秋播小麦、春播小麦、菜豆、馬鈴薯、秋播菜種、春播菜種)
 - 三 適否試験(みぶよもぎ、芋麻)
 - 四 大麻試作
 - 五 耕鋤時期比較試験(燕麦)準備地
- 右の内本年度完了し、農事指導資料として發表せるもの左の如し
- 一 水稻品種選抜試験

水稻品種の特性、收量、品質等を比較し當地方に適する良品種を選抜せんが爲梗種「坊主五號」外五品種、糯種に於ては「改良糯一號」外二品種に就き行ひたるに、「富國」及「北光」は在來の「坊主五號」及「坊主二號」に比し收量優り、糯種にありては「長澤糯」は「改良糯一號」、「山崎糯」等に比し品質劣るも收量多く、且稻熱病に對する抵抗性を以て斯種土壤の如き稻熱病發生の虞多き箇所栽培に適するを認めたり。

二 飼料作物に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	区	数	面	積
適作物査定に關する試験及調査		四		二〇		六〇〇
耕種に關する試験及調査		四		七三		一、三〇〇
土壤肥料に關する試験及調査		三		三六		一、〇〇〇
計		一		二九		二、九〇〇

四四

本試験は泥炭地に於ける飼料作物の適否、耕種肥培等に關する試験及調査を行ふを以て目的とす。
本年度施行せる種類左の如し

- 一 適否試験（アルサイククロイバー、リードキャナリイグラス）
 - 二 牧草播種期節試験（チモシー、赤クロイバー）
 - 三 飼料用玉蜀黍三要素試験
 - 四 牧草三要素試験（チモシー、赤クロイバー）
 - 五 覆土の深淺及鎮壓の有無が發芽率に及ぼす影響に關する試験（燕青、瑞典燕青、チモシー、赤クロイバー）
- 右の内本年度完了し、農事指導資料として發表せるもの左の如し
- 一 飼料用玉蜀黍三要素試験
- 本試験は高位泥炭地（埴土客入）に於ける飼料用玉蜀黍に對する肥料三要素の天然供給量を査察せんが爲施行せるものにして、其の成績に據れば石灰施用の効果極めて顯著にして、孰れの場合も加里の肥效最も大にして、石灰不施用の場合は窒素、燐酸の順位にて、石灰施用の場合は 燐酸、窒素順次し、是等も亦施用の効果大なるを認めたり。

三 土地改良に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	区	数	面	積
客土に關する試験及調査		一		六		一五〇

本試験は泥炭地の適當なる改良法に就き試験及調査を行ふを以て目的とす。
本年度施行せる種類左の如し

- 一 客入土の土性に關する試験（燕麥）

四 土壤肥料に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	区	数	面	積
三要素に關する試験及調査		五		二二		六五〇
肥效に關する試験及調査		五		四五		一、五〇〇
其の他の試験及調査		一		六		一五〇
計		一		七三		二、三〇〇

本試験は泥炭地を改良し、地力の維持増進を圖らんが爲、三要素並に肥料の種類、肥效其の他に關する試験及調査を行ふを以て目的とす。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 綠肥用黄花ルービン採種試験

四五

- 二 三要素試験(燕麥、馬鈴薯)
- 三 黃花ルービン鋤込跡地三要素試験(燕麥、黃花ルービン)準備地
- 四 トーマス燐肥比較試験(燕麥)第二作
- 五 燕麥對セメントダスト肥效比較試験
- 六 燕麥對ステツクストツフカルクフオスファート肥效比較試験
- 七 鹽化アンモニヤ肥效比較試験(燕麥、馬鈴薯)

五 病害蟲に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	數
病害蟲に關する試験及調査			二

本試験は、當地方に於ける主要農作物に對する主なる病害蟲に關する試験及調査を行ふを目的とす。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 地方重要農作物病害蟲に關する調査
- 二 病害蟲の分布及發生狀況に關する調査(特用作物、飼料作物、綠肥作物)

六 農業經營に關する試験及調査

一 美唄經營試験

本試験は、既往の各種試験及調査の成績を綜合して石狩國空知郡高位泥炭地に對し、食糧及飼料の自給を基調とせる一五

町歩混同農業經營法を立案し、之を實際農家をして實施せしめ、其の經營及生活の實情を詳にし且漸次改善を加へ、以て地方模範農場の域に到達せしめんとするにありて、本年は作付第二年目なり。而して本年の天候は六月上旬の後半以降の天候乾燥に失したりしを以て、玉蜀黍、小豆、青刈玉蜀黍は發芽の狀況劣りしも、其の他のものは一般に良整なりき。七月以降の天候は特に乾燥せる爲、小豆は著しく生育を阻碍せられ、蕎麥は發芽の狀況劣り、爾後の生育亦不振を示したり。菜種は五月十四日の結霜の被害により作況劣るを示せしも、其の他の生育概して順調なりき。尙客土を行ひたるものは原土のものに比し著しく優り、春播小麥、燕麥、豌豆等は作況特に佳良にして、豫期の成績を擧ぐると共に地方當業者を啓發するところ大なりき。

第二 普及事業

一 見本作

試験及調査に屬せざる各種蔬菜、花卉等を用地内に栽植し、事業上の参考に資すると共に參觀人に供覽せり。

二 種苗配付

本年度配付せる種苗は燕麥一五疇なり。

三 農事指導

講習講話會、協議會、實地指導、其の他の爲場員をして夫れ夫れ指導せしめたり。

四 質疑 應答

農業上各般の事項に互り、書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

五 參觀 人

本年度の參觀人總數は五三四名なり。

第三 其の 他

一出 張

本年度に於て指導及調査、其の他の爲場員の出張せるは、技手一四回三九日、助手一回一日なり。

二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件數は、發送一〇六件、接受一八五件なり。

三 用地の整理

本年度に於て試験用地内排水溝の浚渫を行ひたる外、用地の整理等を行ひたり。

早來火山灰地試験地

第一 試験及調査

一 種藝に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	數	區	數	面積	積
豊凶考照試験		一八		二四		一、三二二
品種改良に關する試験及調査		九		一一二		二、一四九
耕種に關する試験及調査		二		三一		一、〇九一
其の他の試験及調査		四		九		四三〇
計		三三		一七六		四、九九二

本試験は、當地方に廣く分布する火山灰地に對し各種作物の適否、品種の選抜、耕種肥培、管理等に關する試験及調査を行ふを目的とす。而して當地方本年の天候は、融雪後六月中旬迄は極めて順調に經過せるも、爾後約一ヶ月間は低冷寡雨寡照の天候持續せる爲、夏收作物は生育概して良好なりしも、秋收作物殊に水稻は苗の活着遅れ、生育不振に陥り、一時は憂慮すべき状態にありき。されど其の後七月中旬末期より天候恢復し、高温寡雨多照の天候となり、八月下旬には稍過旱に失

する状態を示したるも、夏收作物は特に登熟適順且收穫後の乾燥も良好にして、又秋收作物も陸稻の旱害を被りたる外孰れも生育良進し、特に水稲は作況良好となれり。而して本年は陸稻及茶種を除く外は夏秋作物共に平年に比し増収を示したりき。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶参照試験（水稲、大麦、裸麥、秋播小麦、春播小麦、燕麥、玉蜀黍、大豆、小豆、菜豆、豌豆、馬鈴薯、甜菜、亞麻、秋播茶種、春播茶種、飼料用玉蜀黍、飼料用ビート）
- 二 品種選抜試験（水稲、陸稻、秋播小麦、春播小麦、黍、大豆、小豆、菜豆、馬鈴薯、秋播茶種）
- 三 水稲苗仕立法に關する試験
- 四 秋播茶種播種期節試験
- 五 適否試験（みぶよもぎ、苧麻、大麻、高粱）

二 甜菜に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	数	區	数	面	積
甜菜の品種改良に關する試験		一		二八		三三二 平方米

本試験は、當地方火山灰地に於ける甜菜の優良品種の選抜に關する試験及調査を行ふを目的とす。

- 一 品種比較試験

三 飼料作物に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	数	區	数	面	積
品種改良に關する試験及調査		四		四九		九九二 平方米
耕種に關する試験及調査		二		二〇		六六一 平方米
肥料に關する試験及調査		一		四〇		四〇〇 平方米
其の他に關する試験及調査		一		三		三三三 平方米
計		八		一一二		一、六八六 平方米

本試験は、當地方火山灰地に於ける各飼料作物の適否、優良品種の選抜、耕種肥培、管理等に關する試験及調査を行ふを目的とす。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種選抜試験（稗、飼料用ビート、飼料用蕪菁、飼料用胡蘿蔔）
- 二 牧草播種期節試験（チモシー、赤クローバー）
- 三 赤クローバー採種に關する試験
- 四 牧草三要素試験（チモシー、赤クローバー）
- 五 飼料用ビート採種調査

四 園藝に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積	
品種改良に関する試験及調査	果樹に關する試験及調査	計	九	七	一	三〇	三三一
その他の試験及調査	計	九	七	一	三八	一六五	五一三

本試験は、火山灰地に於ける蔬菜及果樹の適否並に優良品種の選抜、耕種肥培、管理等の試験及調査等を行ふを目的とす。
 本年度施行せる種類左の如し

- 一 甘藷品種選抜試験 [附]種藪貯藏調査
- 二 適否試験(セルリ、花椰菜、ライマビーン、刀豆、里芋、慈姑、葡萄)

五 施肥標準調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
施肥標準調査現地委託試験	計	二	一	七	一七	五、六一〇

本試験は、火山灰地に於ける施肥の標準を決定するを目的とし、左記町村農會に委託して試験を行ひたり。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 現地肥料配合試験(鶴川村、穂別村)

六 土壤肥料に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積	
三要素に關する試験	肥效に關する試験及調査	計	二	六	二	一	五〇
その他の關する試験及調査	委託試験	計	二	六	二	一	九八
委託試験	計	二	六	二	一	一	四、五〇〇

本試験は、他の普通礦質土壤に比し特異の性状を有する火山灰土壤の地力の推移、土壤の管理、肥料の種類及肥效並に根瘤菌接種の效果等に関する試験及調査を行ふを目的とす。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 亞麻三要素試験
- 二 鹽化アンモニヤ肥效比較試験(燕麥、馬鈴薯)
- 三 間作黄花ルービン肥效調査
- 四 地力減耗試験(水稻、燕麥、大豆、馬鈴薯)
- 五 燕麥對堆肥用量試験

- 六 馬鈴薯對石灰と地力關係試驗
- 七 根瘤菌接種試驗(ルーサン、黄花ルービン、赤クロローバー)
- 八 亞麻對石灰窒素施用法試驗
- 九 黄花ルービン採種試驗
- 一〇 委託試驗
 - イ ルーサン根瘤菌接種試驗(白老村)
 - ロ ルーサン増殖に關する試驗(洞爺村)

七 病害蟲に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	数	區	数	面	積
病害蟲に關する試験及調査		二		一		

本調査は、當地方に於ける主要農作物の主なる病害蟲に就き試験及調査を行ふを目的とす。

- 本年度施行せる種類左の如し
- 一 地方重要農作物病害蟲に關する調査
- 二 病害蟲の分布及發生狀況に關する調査(特用作物、飼料作物、綠肥作物)

八 煙草に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	数	區	数	面	積
耕種に關する試験		一		一四		一、〇〇〇
委託試験		一		六		一、〇〇〇
計		二		二〇		一、一〇〇

本試験は、當地方火山灰地に於ける葉煙草の耕種肥培、管理等に關し試験及調査を行ふを以て目的とす。

- 本年度施行せる種類左の如し
- 一 畦幅株間距離試験
- 二 委託試験
 - イ 窒素用量試験(日高試作場)

九 農業經營に關する試験及調査

一 早來第一經營試験

本試験は、大正十三年の開始に係り、其の目的は既往の試験及調査の成績を綜合して早來地方火山灰地に適する一五町歩混同經營法を立案し、普通農家をして實地經營せしめ漸次改善を加へて地方農家の模範たらしめんとするにあり。而して本年の天候は六月中旬以降約一箇月間に互り低冷寡雨寡照の天候を示し、七月中旬以降は天候恢復し高温寡雨多照の天候となりしも作物に及ぼす所少なく各作物共收量、品質共に良好にして附近農家を裨益せる所尠からざりき。

又畜産に於ても常に家畜の狀態に注意し、乳牛の入替を巧に行ひ、産乳量の減退を防ぎ、豫期の收入を擧げ、農畜共に當農場開設以來の良成績を收め、地方農家の範となり當業者を裨益せる所尠からざりき。

二 早來第二經營試験

本試験は昭和三年の開始に係り、其の目的は既往の試験及調査の成績に基き五町歩混同経営法を立案し、普通農家をして経営を實施せしめ、經營の進捗に伴ひ漸次改善を加へて地方農家の模範たらしめんとするにあり。而して本年の天候亦前述の如かりしを以て、各作物共收量、品質共に良好にして、當農場開設以來の記録的收穫を收め、又畜産に於ては尙改善すべき點多きも、本年はサイロを建設し、飼料の改善を圖り、大體豫期の收入を擧げ農畜共概して順調に經過し、當業者を裨益せし所尠からざりき。

三 早來第三經營試験

本試験は、昭和三年の開始に係り、其の目的は既往の試験及調査の成績に基き立案せる五町歩主畜經營を立案し、普通農家をして實地に經營せしめ、漸次改善を加へて地方農家の模範たらしめんとするにあり。而して本年の氣候は前述の如かりしを以て、間作赤クローバー及八月中旬播種の夏收作物跡地に栽培せる飼料用蕪菁の發芽不良なりし外は、各作物共一般に收量、品質共に平年に比して優り、殊に飼料用玉蜀黍及各種牧草の成績良好にして潤澤に飼料を得、又産乳量も多く極めて順調にして、地方主畜農業の範となり當業者を裨益せる所尠からざりき。

第二 普及事業

一 見本作

試験及調査に屬せざる各種農作物を栽培し、事業上の参考に資すると共に參觀者に供覽せり。

二 種苗配付

本年度配付せる種苗は大豆四〇疋なりき。

三 農事指導

講習講話會、協議會、研究會、共勵會其の他の爲場員をして夫れ夫れ指導せしめたり。

四 質疑應答

農事上各般の事項に互り書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

五 參觀人

本年度の參觀人總數は一、一二五名なり。

第三 其の他

一出張

本年度に於て指導及調査、其の他の爲場員の出張せるは、技手一九回六五日、助手一〇回二九日なり。

二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件數は、發送二五八件、接受三二八件なり。

上川支場

第一 試験及調査

一 種藝に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	数	區	數	面積
豊凶考照試験		一		六	五九五 <small>平方尺</small>
品種改良に関する試験及調査		一一		一、四六二	一八、四一三
耕種に関する試験及調査		四		五五	一、九一七
其の他の試験及調査		二		四	三三一
委託試験		二		二五四	四、一九一
計		二〇		一、七八一	二五、三四七

本試験は、當地方に於ける主要農作物品種の選擇並に育成、耕種肥培、管理、收穫、乾燥等に関する試験及調査を行ふを目的とす。

本年農耕期間の天候は融雪後より六月下旬迄は、稍氣温の低下せることありしも、其の後天候恢復し、七月上旬以降八月下旬に至る間は降水量極めて僅少にして、高温晴燥の日持續せる爲畑地は甚だ乾燥せり。爾後氣温平年と大差なかりしも、

曇雨天の日多く、且九月十六日には大降雹ありき。

如斯天候状態なりし爲畑作物にありては一般に熟期著しく促進せられ、收量、品質共に良好なりしも陸稻、大麥、裸麥、小麥、玉蜀黍、大豆、小豆等は收量平年に比し稍劣るを示したり。されど品質は概して良好なりき。病害としては粟の黒穂病の外特記すべきものなかりしも、害虫はムギクロハマグリバへ、ダイヅクキタマバへ、大豆莢蠹蟲、モンシロテフ等の發生多く被害甚大なりき。

又水稻に於ては直播、移植栽培共に氣候前述の如く高温なりし爲生育促進せられ、出穂期早く、成熟期も亦早かりき。病虫害としては稻泥負蟲の發生多かりしも、防除に努めたる結果被害大ならざりき。登熟期に至りて降雨續きなりしと、九月十六日の大雹害により未收穫のものにありては、籾の脱落甚だ多く豫想外の被害を見たるも、雹害を被らざりしものは一割乃至二割内外の増收を示し、品質は各品種共色澤不良、病斑多く良好ならざりき。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶考照試験(水稻)
- 二 水稻優良品種特性調査
- 三 品種特性調査(水稻、陸稻、大麥、裸麥、秋播小麥、春播小麥、ライ麥、燕麥、裸燕麥、玉蜀黍、粟、稗、蕎麥、大豆、小豆、菜豆、豌豆、馬鈴薯、甜菜、亞麻、菜種、大麻、苧麻)
- 四 水稻産地別による品種特性調査
- 五 水稻新品種育成試験
- 六 水田耕鋤深淺試験
- 七 田作と畑作との輪作試験(水稻、燕麥、赤クローバー混播、玉蜀黍、大豆)
- 八 水稻苗仕立法の適否に関する調査
- 九 水稻落水期に関する調査
- 一〇 水稻多收作に関する調査

- 一一 水稻生育に関する調査
- 一二 委託試験

イ 水稻品種選抜試験（永山村、東應栖村、神樂村、富良野町、上富良野村、中富良野村、美球村、神居村、東旭川村、當麻村、比布村、愛別村、上川村、士別町、山部村、東川村、應栖村、江丹別村、劍淵村、下川村、上士別村、名寄町、風連村、美深町、小平薬村、苫前村、羽幌町、遠別村、天鹽町）

右の内本年度完了し、農事指導資料として發表せるもの左の如し

- 一 田作と畑作との輪作試験

本試験は水田に於て一時稻作を中断し、排水を完全にして畑に變更し、畑作物を栽培せる場合の畑作物の生育、收量竝に雑草の發生等を知り、更に再び水田に還元せる場合の地力の推移を知らんが爲行ひたるに、畑作物の收量は普通畑地に栽培せるものと大差なく、其の跡地に水稻を栽培せる場合には地力を著しく増進し、普通作に比し遙に增收を擧げ得べきことを認めたり。

二 土壤肥料に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	数	區	数	面	積
地力に関する試験及調査			二		八		五九五
肥料要素に関する試験及調査			一		〇		一九八
肥料用量に関する試験及調査			二		八		三九七
計			五		六		一、一九〇

本試験は、農耕地の地力維持増進を圖らんが爲、肥料の種類、肥效、施用量竝に施用期等に関する試験及調査を行ふを目的とす。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 水稻對地力減耗に関する試験
- 二 水田地力に関する調査
- 三 水稻三要素試験
- 四 水稻對石灰窒素用量試験
- 五 水稻對堆肥用量試験

三 病害蟲に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	数	區	数	面	積
病害蟲に関する試験及調査			三		一		

本試験は、當地方に於ける主要農作物に對する主なる病害蟲の防除に関する試験及調査を行ふを目的とす。本年度施行せる種類左の如し

- 一 二化性螟蟲に関する調査
- 二 地方重要農作物病害蟲に関する調査
- 三 病害蟲の分布及發生狀況に関する調査（特用作物、飼料作物、綠肥作物）

四 農業經營に關する試驗

一 永山經營試驗

本試驗は昭和五年の開始に係り、其の目的は既往各試驗及調査の成績を綜合して、上川支廳管内水田地方に對し家畜として耕馬の外乳牛等を飼養せる合理的の水田經營法を知らんとするにありて、當地方水田耕作に經驗深き農家をして之に當らしめ、經營の進歩に伴ひ改善を加へ漸次理想的經營法の域に達せしめんとするにあり。而して本年の天候は春季以來概して順調に經過せる爲經營上特記すべき故障なく、豫定の事業を遂行し得て、植産並に畜産共に豫期の收入を擧げ、地方當業者に對し合理的經營法及適切なる耕種肥培技術の運用とが農業經營上如何に必要なかを目睹せしめ一般當業者を啓發せる所尠からざりき。

二 士別經營試驗

本試驗は、昭和十一年の開始に係り、其の目的は本道北部の氣候比較的冷涼なる地帯に適する田畑兼營の合理的經營法を知らんとするにありて、既往の試驗及調査の成績を綜合し田作の他畑作及養畜を加味せる經營法を實施せしめ、經營の進歩に伴ひ漸次改善を加へ、以て地方農業經營の模範たらしめんとするにあり。而して本年の天候は春季以來概して順調に經過し、各種作物の生育概して良好なりしも、夏季の高溫過乾は畑作物にありては旱害を被り、收量は一般に少なりしも、尙附近農家のものより遙に好果を示し、水稻は温床苗栽培、直播栽培によるもの共に良好にして、植産並に畜産共に豫期の收入を擧げ、當地方農業經營改善上に資する所尠からざりき。

第二 普及事業

一 見本作

試驗に屬せざる園藝作物其他の作物を見本として栽培し、事業上の參考に資すると共に參觀者に供覽せり。

二 種苗配付

本年度に於て配付せる種苗の種類及數量左の如し

種類	配付數量	種類	配付數量
水 稻	五四四・五	燕 麥	〇・二
裸 麥	〇・一	蜀 黍	〇・一
秋 播 小 麥	一・八	大 豆	一・六
春 播 小 麥	〇・五	小 豆	〇・九
秋 播 麥 伊	三・三	碗 豆	〇・四

三 農事指導

講習講話會、協議會、研究會、實地指導其他の爲場員をして夫れ夫れ指導を行はしめたり。

四 質疑應答

農業上各般の事項に互り書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

五 參觀人

本年度の參觀人總數は五、六九八人なり。

第三 其の他

一出張

本年度に於て指導及調査、其の他の爲場員の出張せるは、技師三二回八五日、農林技師七回三九日、技手一三回三二日、其の他二回六日なり。

二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件數は發送一、二五六件、接受一、一六五件なり。

三 用地の整理

水稻試験の増加及試験の正確を期せんが爲、畦畔の整理、排水溝の浚渫並に用地内境界に獨乙唐檜苗を栽植して生垣を設けり。

十勝支場

第一 試験及調査

一 種藝に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	数	區	面積
豊凶考照試験		一五		一、一五〇 <small>平方米</small>
品種改良に関する試験		一六		九、一四〇
耕種に関する試験及調査		四		一、三七五
綠肥作物に関する試験		三		八〇九
其の他の試験及調査		六		二、二九二
委託試験		三		二、〇五三
計		四七		一六、八一九

本試験は、當地方に於ける普通作物、特用作物、綠肥作物等各種の作物に就き品種の選擇並に育成、耕種肥培、管理、收穫等に關する試験及調査を行ふを目的とす。而して本年の天候は融雪早く且播種も早く了し其の後の天候良好にして各作物

共生育良好なりしに、五月中旬には一時低温を示し、六月上旬には降水量極めて少なく、爾後は再び平年に比し低温を示したり。然るに八月に入り高温に加へて降水量極めて少なく秋收作物の多くは被害を見たり。天候以上の如くなりし爲夏收作物は近年になき豊作を示し、秋收作物中玉蜀黍、黍、小豆は稍平年に劣れるも他作物は平年作を示し、各試験共信憑すべき成績を挙げ得たり。而して此の間水稻に擬似稻熱病及稻泥負蝨、春播小麦に萎縮病、菜豆に菌核病發生し被害を見たり。本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶考照試験(水稻、大麦、裸麥、秋播小麦、春播小麦、燕麥、玉蜀黍、黍、大豆、小豆、菜豆、豌豆、馬鈴薯、甜菜、亞麻)
- 二 品種選抜試験(水稻、秋播大麦、秋播小麦、燕麥、玉蜀黍、黍、蕎麥、大豆、小豆、菜豆、豌豆、馬鈴薯、亞麻、秋播菜種、春播菜種)
- 三 新品種育成試験(大豆、小豆、豌豆)
- 四 間作に關する調査
- 五 秋播菜種播種期節節試験
- 六 菜豆有望品種播種期節節試験
- 七 豌豆秋播に關する調査
- 八 混作、間作及後作綠肥作物種類試験
- 九 單作綠肥作物種類試験(荳科牧草、ルービン類、大豆、菜種、燕麥、ライ麥、稗、粟)
- 一〇 綠肥作物採種比較試験(赤クローバー、アルサイククローバー、ラデノークローバー、クリムソンクローバー、ベツチ類、黄花ルービン、青花ルービン、大豆)
- 一一 適否試験(菊芋、みぶよもぎ、苧麻、高粱)
- 一二 菊芋、馬鈴薯比較調査
- 一三 委託試験

イ 菜豆品種試験(上士幌)

ロ 馬鈴薯品種試験(上士幌)

右の内本年度完了し、農事指導資料として發表せるもの左の如し

一 菜豆品種選抜試験

當地方に於ける菜豆の適品種を選抜せんとして行ひたるに、「手無鶴金時」は「鶴金時」に比し收量少なきも、品質優り、成熟期早きを以て、本道東部地方の栽培に適するを認めたり。「常富長鶉」及「菊地長鶉」は炭疽病に強く、後者は菌核病にも強く、兩種共「手無長鶉」に比し收量多く、就中「常富長鶉」は當地方に栽培されつつある品種中收量最も多き「大手」に比するも多きを以て「手無長鶉」の栽培さるべき地方に適するを認め、「丸長鶉」は炭疽病に強く成熟期特に早きを以て、比較的寒冷なる地方にも栽培するに適するを認めたり。

「手無中長鶉」は炭疽病に強く「中長鶉」に比して收量多きを以て「中長鶉」の栽培さるべき地方に適するを認めたり。

二 馬鈴薯品種選抜試験

當地方に於ける馬鈴薯の適品種を選抜せんとして行ひたるに、「咸南白」は薯塊の收量「ペポー」、「北海白」に亞ぎて多く澱粉含有量最も高く、澱粉收得量最も多く、食味は「明星」に比して優れるを以て、新に優良品種に決定せり。

三、菜豆有望品種播種期節節試験

「手無鶴金時」、「常富長鶉」、「菊地長鶉」、「丸長鶉」、「手無中長鶉」及比較用として「紅金時」の六品種に就き播種適期を査定せんとして行ひたるに、異狀の歲を除けば「常富長鶉」、「菊地長鶉」、「手無中長鶉」は五月十日播の收量、品質最も優り、其の範圍は五月中にして、尙場合によりては「手無中長鶉」は六月初旬迄は可能なるを認めたり。

「紅金時」、「手無鶴金時」、「丸長鶉」は五月二十日播の收量、品質優りて播種の最適期と認められ、尙「紅金時」は五月下旬迄、「手無鶴金時」、「丸長鶉」は六月初旬迄播種して可なるを認めたり。

一一 甜菜に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	数	区	数	面	積
品種改良に關する試験 肥料に關する試験	計	一		五七		一、一九七
		二		一〇六		六三三
		三		一六三		一、八三〇

六八

本試験は、當地方に於ける甜菜品種の選擇、耕種肥培に關する試験及調査を行ふを目的とす。
本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種比較試験
- 二 甜菜對綠肥跡地に於ける燐酸、加里適量査定試験
- 三 十勝高丘地力増進に關する試験

三 飼料作物に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	数	區	数	面	積
品種改良に關する試験及調査 耕種に關する試験及調査 肥料に關する試験及調査	計	一		一〇		二四〇
		二		二八		一、〇七四
		二		二八		一、〇七四
		五		一五七		三、三六一
其他の試験及調査				六六		八六五

委託試験	委託試験	委託試験
計	一	六
	一	三六七
		四、〇〇〇
		九、五四〇

本試験は當地方に於ける飼料作物に就き、品種の選擇、耕種肥培等に關する試験及調査を行ふを目的とす。
本年度施行せる種類左の如し

- 一 飼料用根菜類品種選抜試験（飼料用ビート、瑞典蕪菁、飼料用胡蘿蔔、禾本科牧草、荳科牧草）
- 二 青刈作物適否試験
- 三 アルサイクローパー刈取時期調査
- 四 早春用綠飼料栽培調査（秋播菜種、飼料用蕪菁、蔬菜用蕪菁、瑞典蕪菁、飼料用ビート、甜菜、莖立菜、秋播ライ麦）
- 五 飼料作物三要素試験（飼料用蕪菁、瑞典蕪菁、飼料用胡蘿蔔、黃花ルービン、禾本科牧草、荳科牧草）
- 六 綠肥増収率調査
- 七 委託試験
イ アルサイクローパー、赤クローパー比較試験（廣尾村、大樹村、上士幌村）

右の内本年度完了し、農事指導資料として發表せるもの左の如し

- 一 飼料用胡蘿蔔品種試験
本試験は當地方に於ける飼料用胡蘿蔔の適品種を選抜せんとして行ひたるに、「札幌太人參」は大形にして收量優り、胡蘿蔔特有の芳香強く、且胡蘿蔔葉枯病に對する抵抗性強きを以て、當地方に於ける適品種と認めたり。
- 二 飼料作物三要素試験
(1) 禾本科牧草 各作物共收量は三要素最も優り、無加里、無燐酸之に亞ぎ、無肥料、無窒素最も劣るを示せり。就中オトチャードグラスに於ける窒素の肥効大にして、チモシー之に亞ぎ、イタリアンライグラス最も少なりき。燐酸、加

六九

里の肥効は各作物共大差なきも、チモシーの加里、レッドトップに於ける燐酸、加里比較的顯著なる肥効を認めたり。
 (2) 荳科牧草 各作物共三要素、無窒素最も優り、メリロットの異例を除けば無燐酸最も劣り、無窒素に於てアルサイク
 クローバー及赤クローバーの如きは却て増收を示し、無燐酸に於ては綠肥大豆、黃花ルービン、ルーサン最も減收するを示
 し、赤クローバー之に亞げり。

(3) 根菜類 瑞典蕪菁の外は各作物共三要素最も優り、無加里之に亞ぎ、無窒素稍劣り、無燐酸、無肥料最も劣れり。就
 中家畜ビートは其の肥効最も顯著にして、瑞典蕪菁蕪菁共に燐酸の肥効大なるを認めたり。

四 土壤肥料に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	数	區	数	面	積
委託試験	二		五二				二五五
其他の試験	一		三〇				一〇二九
計	三		八二				一、二八四

本試験は、當地方に於ける農耕地の地力維持増進を圖らんが爲、肥料の種類、肥効並に施用法等に関する試験及調査を行
 ふを目的とす。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 石灰窒素施肥法試験(亞麻、チモシー)
- 二 委託試験
- イ 肥料三要素土壤區比較試験(幕別村)

五 病害蟲に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	数	區	数	面	積
病害蟲に関する試験及調査	八		二五三				四、三一

本試験は、當地方に於ける主要農作物に對する主なる病害蟲に関する試験及調査を行ふを目的とす。
 本年度施行せる種類左の如し

- 一 小麦萎縮病と小麦品種との關係試験
- 二 馬鈴薯疫病對粉劑效果試験
- 三 キタバコガの土中越冬と周期的發生調査
- 四 キタバコガの發生調査
- 五 砒素劑撒布による豆類夜盜蟲防除調査
- 六 麥類赤微病に関する調査
- 七 委託試験
- イ 燕麥品種と冠狀銹病との關係試験(西足寄村、窪別村)
- 八 地方重要農作物病害蟲に関する調査
- 九 病害蟲の分布及發生狀況に関する調査(特用作物、飼料作物、綠肥作物)

六 農業經營に関する試験及調査

一 上士幌經營試驗

本試驗は、昭和十年の開始に係り、十勝國に於ける北方國境山脈の影響を被りて、氣候冷涼なる高原地帯に適する農業經營法を知るにありて、既往に於ける試験及調査の成績を綜合して立案せる食糧及飼料の自給を基調とし、畑二〇町歩に綿羊乳牛を飼養する混同農業經營法を地方普通勞力を有する農家をして實施せしめたり。

第二 普及事業

一種 苗配付

本年度に於て配布せる種苗の種類及數量左の如し

種類名	配付數量	種類名	配付數量
水陸稻	三〇・五六三	燕麥	一四六・六一八
大麥	〇・五一〇	蜀黍	七五・六一九
裸麥	二・二五〇	粟	一・五七五
秋播小麥	〇・六五六	稗	二・五三〇
春播小麥	四一・五三五	蕎麥	一・〇八〇
秋播小麥	四・九一三	大豆	一・四四八
春播小麥	一・二三八	大豆	六〇・五六三
秋播小麥	一・二三八	大豆	三一・三五〇
春播小麥	一・一六三		

種類名	配付數量	種類名	配付數量
菜豆	六〇・二三六	秋播菜種	一二・六七一
豌豆	〇・七一三	春播菜種	〇・六九八
薯蕷	一一・三一九・九〇〇	綠肥作物	二二・一七七
馬鈴	一・六五四		

二 農事指導

講習講話會、研究會、協議會、實地指導其の他の爲、場員をして夫れ夫れ指導せしめたり。

三 質疑應答

農業上各般の事項に互り書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

四 參觀人

本年度の參觀人總數は二、一〇〇名なり。

第三 其他

本年度に於て指導及調査、其の他の爲場員の出張せるは、技師三〇回六七日、屬二回七日、技手五一回一〇五日、助手九回一四日、其の他一回一日なり。

二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件数は發送一七〇件、接受一九三件なり。

幸震高丘地試験地

第一 試験及調査

一 種藝に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	数	區	数	面積	積
豊凶考照試験		一		四七		二、〇〇〇
品種改良に関する試験		一八		一七九		三、七五〇
緑肥に関する試験及調査		一		七八		二、〇〇〇
其の他の試験及調査		三		三		一三〇
計		一三		三〇七		七、八八〇

本試験は、當地方に於ける普通作物、特用作物、緑肥作物等各種の作物に就き、品種の選擇、耕種肥培、管理等に関する試験及調査を行ふを目的とす。而して本年の天候は概して良好なりしも五月中旬、六月中、下旬には低温を示し、又六月上旬は一時降水量少なく、八月に入りては極めて降水量少なく下旬までその状態を續けたり。天候以上の如かりし爲、概して夏收作物は成績良好なりしも秋收作物には乾害を受けたるもの多かりき。本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶参照試験（秋播大麥、春播大麥、裸麥、秋播小麥、春播小麥、秋播ライ麥、燕麥、玉蜀黍、黍、稗、粟、大豆、小豆、茶豆、豌豆、馬鈴薯、甜菜、亞麻、飼料用玉蜀黍、飼料用ビート、飼料用胡蘿蔔、瑞典燕青）
 - 二 品種選抜試験（大麥、玉蜀黍、黍、茶豆、馬鈴薯）
 - 三 秋播大麥系統生産力検定試験
 - 四 綠肥作物種類試験
 - 五 適否に関する試験（みぶよもぎ、大麻、苧麻）
- 右の内本年度完了し、農事指導資料として發表せるもの左の如し
- 一 馬鈴薯品種選抜試験
- 當地方に於ける馬鈴薯の適品種を選抜せんとして二十四品種に就き行ひたる成績に據れば熟期、收量、品質等を考慮するときは、澱粉用として早熟種は「北海白」、中熟種として「咸南白」、「紅丸」、晩熟種として「神谷薯一號」、「金時」、「明星」、食糧用として「蝦夷錦」等當地方に於ける優良種と認め、「男爵薯」は最早熟種にして早掘用に適するを認めたり。

二 甜菜に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
品種改良に関する試験				一	一四	五〇〇
耕種に関する試験及調査				二	二二	五〇〇
病害蟲に関する試験及調査				一	一四	三〇〇
計				五	五〇	一、三〇〇

本試験は、當地方に於ける甜菜栽培に関する各般の試験及調査を行ふを目的とす。
本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種比較試験
- 二 多收穫調査
- 三 甜菜立枯病に関する調査

三 飼料作物に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
耕種に関する試験及調査				二	三四	五〇〇
肥料に関する試験				一	六	一二五
計				三	四〇	六二五

本試験は、當地方に於ける飼料作物に就き品種の選擇、耕種肥培に関する試験及調査を行ふを目的とす。
本年度施行せる種類左の如し

- 一 チモシー播種期節試験
- 二 瑞典燕青畦幅對株間距離調査
- 三 チモシー三要素試験

四 土壤肥料に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
三要素に關する試験		一		三八		一、〇〇〇
三要素適量に關する試験		一		二〇		六〇〇
其他の試験		一		五		一一〇
計		三		六三		一、七二〇

本試験は、當地方に於ける農耕地の地力維持増進を圖らんが爲、土壤の管理、肥料の種類、肥效及施用法等に關する試験及調査を行ふを目的とす。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 三要素試験(燕麥、黍、粟、稗、馬鈴薯、菊芋)
- 二 加里用量試験(燕麥、黍、粟、稗)
- 三 小豆對堆肥用量試験

右の内本年度完了し、農事指導資料として發表せるもの左の如し

- 一 黍、粟、稗對三要素試験
黍、粟、稗に對する三要素試験成績に據れば、三者共三要素の肥效大なるも、黍に對しては空素の肥效最も優り、加里の肥效は稍劣れり。粟に對しては加里、空素の肥效大にして磷酸は劣り、稗に對しては空素の肥效最も大にして磷酸、加里伯仲して稍劣れり。
- 二 燕麥、黍、粟、稗對加里用量試験
燕麥、黍、粟、稗に對し加里用量試験を行ひたる成績に據れば、各作物共に加里施用により增收を示し、就中粟の增收率最も大にして、燕麥、稗之に亞ぎ、黍は他に比し劣るを示せり。而して其の施用量は各作物共に陌當三〇疋最も有利なるを認めたり。

認めたり。

五 十勝高丘地地力増進に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
十勝高丘地地力増進に關する試験及調査		一五		二二九		平方米

本試験は、高丘地の地力増進に關する試験及調査を行ふを目的とす。
本年度施行せる種類左の如し

- 一 作土改良の深さに關する試験(甜菜)
- 二 深耕と肥料用量並に施肥法との關係試験(甜菜)
- 三 客土量對施肥量試験(甜菜)
- 四 客土及堆肥併用試験(甜菜)
- 五 客土堆肥石灰併用試験(甜菜)
- 六 客土の種類試験(甜菜)
- 七 甜菜高畦栽培に關する調査
- 八 中耕に關する調査(小豆、甜菜)
- 九 沖積土と高丘地との作物養分吸收量相違に關する調査(燕麥、大豆、甜菜)
- 一〇 土壤鹽基飽和度調査(甜菜)
- 一一 心土肥培調査(燕麥、大豆、甜菜)

- 一 二 燒土調査（燕麥、大豆、甜菜）
- 一 三 活性礫土の土地生産力に及ぼす影響査定調査（燕麥、大豆、甜菜）
- 一 四 作物根分布状態に關する調査（燕麥、玉蜀黍、大豆、甜菜、赤クローバー）
- 一 五 荳科作物根瘤菌接種調査（大豆、小豆、菜豆、豌豆、綠肥用大豆、クローバー類、ベツチ類）

六 病害蟲に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	數	區	數	面	積
病害蟲に關する試験及調査		四		二五		五〇〇 <small>平方尺</small>

本試験は、當地方に於ける主要農作物に對する主なる病害蟲に關する試験及調査を行ふを目的とす。本年度施行せる種類左の如し

- 一 黍に於ける二化性螟蟲に關する調査
- 二 夜盜蛾發生豫察調査
- 三 キタバコガ發生期調査
- 四 キタバコガ土中越冬と周期的發生調査

七 農業經營に關する試験

一 幸震經營試験

本試験は、昭和三年の開始に係り、從來の試験及調査の成績に基き、十勝國高丘地に於ける混同農業經營法を立案し、農家をして實地に經營せしめ、漸次改善を加へ模範的經營法を知らんとするにありて、本年度は一七町歩の經營を行ひたり。

第二 普及事業

一 見本作

試験及調査に屬せざる各種農作物を栽培し、事業上の參考に資すると共に參觀者に供覽せり。

二 農事指導

講習講話會、協議會、研究會、共勵會、實地指導、其の他の爲、場員をして夫れ夫れ指導せしめたり。

三 質疑應答

農業上各般の事項に互り書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

四 參觀人

本年の參觀人總數は一、一〇五名なり。

第三 其の他

一 出 張

本年度に於て指導及調査、其の他の爲、場員の出張せるは技手三〇回四九日、助手三回五日なり。

二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件数は、發送五三件、接受一六五件なり。

北見支場

第一 試験及調査

一 種藝に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	数	區	数	面	積
豊 凶 考 照 試 験		一五		三四		一、六〇〇
品種改良に関する試験及調査		一〇		一八九		五、七八〇
耕種に関する試験及調査		五		一三一		一、六八五
其の他の試験及調査		五		一〇		五〇〇
委託試験		一		一七		三四〇
計		三六		三八一		九、九〇五

本試験は、當地方に於ける普通作物、特用作物等各種の作物に就き品種の選擇並に育成、耕種、肥培等に關する試験及調査を行ふを目的とす。而して本年の氣候は五月上旬概して曇天多かりしも、播種は適順に行はれ、爾後も稍不順にして六月中旬には三日間に亙り部分的に結霜を見、豆類等は多少の被害を認めたり。其の後晝夜間の氣温の較差大にして、七月中旬以降に至り本格的な高温となり、作況好進したるも、八月に至り著しく乾燥に失し、夏收作物は其の影響尠かりしも、菽豆類

馬鈴薯、甜菜、薄荷等の秋收作物は減收を示し、水稻は生育良好なりしも、九月以降の多雨の爲、收穫物の乾燥不良にして品質一般に不良なりき。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶考照試験（水稻、大麥、裸麥、秋播小麥、春播小麥、燕麥、玉蜀黍、大豆、小豆、菜豆、豌豆、馬鈴薯、甜菜、亞麻、秋播菜種、薄荷）
- 二 品種選抜試験（水稻、陸稻、秋播大麥、小麥、蕎麥、菜豆、馬鈴薯、亞麻、秋播菜種、薄荷）
- 三 産地別による水稻品種特性調査
- 四 水稻温床苗栽培に於ける栽植密度試験
- 五 水稻各種苗仕立法適否調査
- 六 水稻温床苗移植田に於ける灌漑法試験
- 七 水稻温床苗移植田に於ける落水期試験
- 八 適否試験（みぶよもぎ、高粱、大麻、苧麻、ラベンダー、蔬菜、果樹）
- 九 動植物季節調査

右の内本年度完了し、農事指導資料として發表せるもの左の如し

- 一 水稻温床苗栽培に於ける栽植密度試験
本試験は、温床苗移植の際に於ける適當なる栽植距離並に移植本數を知らんが爲行ひたるに、北見地方に於ては概して條植に近き栽植方法或は正方形植の稍密植法即ち 8×10 穗一本植、 10×10 穗二本植、 12×10 穗一本植、 15×10 穗二本植、 10×12 穗二本植等の優るを認めたり。
- 二 水稻各種苗仕立法適否調査
本試験は、水稻各種苗仕立法に關する適否を知らんが爲行ひたるに、各種苗仕立法中温床、簡易温床及冷床苗栽培は從來慣行の普通栽培或は直播栽培に比し出穂期及成熟期早く、莖數は稍少なきも、草丈、穗長共に長く、收量優るを認めたり。

二 甜菜に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	數	區	數	面積
品種改良に關する試験及調査		一		一〇〇	二、一〇〇 <small>平方米</small>
病害蟲に關する試験及調査		一		一	一、二〇〇
其他の試験及調査		一		一	一、二〇〇
委託試験		四		一一二	三、三〇〇
計					

本試験は、當地方に於ける甜菜栽培に關する各般の試験及調査を行ふを目的とす。本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種比較試験
- 二 夜盜蟲豫察調査
- 三 生育調査

三 飼料作物に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	數	區	數	面積
品種改良に關する試験及調査		六		八六	二、五〇〇 <small>平方米</small>

耕種に關する試験及調査					
肥料に關する試験及調査					
其他の試験及調査					
計	一三	一一	二四	一九二	一、六五〇 ^{平方米}

八六

本試験は、當地方に於ける飼料作物の品種の選擇及耕種肥培に關する試験及調査を行ふを目的とす。
本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種選抜試験(飼料用根菜類)
- 二 牧草種類試験(禾本科、荳科)
- 三 牧草播種期試験(チモシー、赤クローバー)
- 四 牧草播種量試験(チモシー、赤クローバー)
- 五 牧草收穫期試験(チモシー、赤クローバー)
- 六 赤クローバー採種試験
- 七 牧草三要素試験(チモシー、赤クローバー)
- 八 飼料用玉蜀黍生育調査

四 土壤肥料に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	數	區	數	面積
三要素に關する試験及調査		一		三〇	四五〇 ^{平方米}

肥效に關する試験及調査	二	四一	五〇〇
其他の試験及調査	一一	一一	一、〇〇〇
委託試験	一	二一	一、〇〇〇
計	五	九二	一、九五〇

本試験は、當地方に於ける農耕地の地力維持増進を圖らんが爲、土壤の管理、肥料の種類、肥效及施用法等に關する試験及調査を行ふを目的とす。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 水稻温床苗三要素適量査定試験
- 二 薄荷對刺戟性肥料肥效比較試験
- 三 薄荷對石灰窒素肥效比較試験
- 四 委託試験
 - イ 重粘地帯土地改良試験及調査(雄武村)
 - ロ 土地改良試験(紋別町)

五 病害蟲に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	數	區	數	面積
病害蟲に關する試験及調査		三			

八七

本試験は、當地方に於ける主要農作物に對する主なる病害蟲に關する試験及調査を行ふを目的とす。本年度施行せる種類左の如し

- 一 秋播小麦播種期節と種蠅との關係調査
- 二 薄荷病害蟲に關する調査
- 三 二化性螟蟲に關する調査
- 四 地方重要農作物病害蟲に關する調査
- 五 病害蟲の分布及發生狀況に關する調査（特用作物、飼料作物、綠肥作物）

六 農業經營試驗

一 野付牛經營試驗

本試験は、昭和四年の開始に係り、當地方水田經營の適切なる規模及組織を知らんとするにあり。而して本年の氣候は稲作に恵まれたる爲、作況又良好にして、反當收量平均約二石六斗を示し、加ふるに乳牛の飼養等により經營狀態著しく良好にして、經營の合理化を如實に示し、地方農家を裨益する所尠からざりき。

二 上斜里經營試驗

本試験は、昭和五年の開始に係り、當地方火山灰地帯に適する適切なる經營法を案出せんとするにあり。而して本年の氣候は七月下旬以降著しく乾燥に失せる爲、秋收作物の成績比較的振はざりしも、長期輪作、綠肥、堆肥等による地力の維持増進を圖りつつある爲、經營全體の收益は著しく向上し、加ふるに家畜の飼養により一層經營の安全性を強化し、地方農家を裨益せる所多かりき。

三 雄武經營試驗

本試験は、昭和十三年秋より開始せるものにして、その目的は從來の試験及調査の成績を綜合應用して、紋別郡一帯に互

り、氣候冷涼にして土壤重粘、酸性土壤多き是等地帯に適する農業經營を實施し、以て地方農家の模範たらしめんとするにあり。

第二 普及事業

一 見本作

試験及調査に屬せざる果樹、蔬菜、花卉、其の他の作物を栽培し、事業上の参考に資すると共に參觀者に供覽せり。

二 種苗配付

本年度配付せる種苗の種類及數量左の如し

種	類	配付數量	種	類	配付數量
水	稻	三四五・二〇〇	稗	麥	〇・二〇〇
大	麥	五・三〇〇	蕎麥	麥	八・二〇〇
裸	麥	一九〇〇〇	大豆	豆	一、四六五・五〇〇
秋	小麥	二・一〇〇	小豆	豆	三・〇〇〇
春	小麥	八、四四八・六〇〇	豌豆	豆	二三四・六〇〇
燕	麥	八一〇〇〇	薄	豆	九、五六三・〇〇〇
秋	播	一九〇〇〇	赤	豆	二〇・〇〇〇
播	麥		ク	豆	
ラ	麥		ロ	豆	
イ	麥		パ	豆	

三 農事指導

講習講話會、協議會、研究會、共勵會、實地指導、其の他の爲場員をして夫れ夫れ指導せしめたり。

四 質疑應答

農業上各般の事項に互り書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

五 參觀人

本年度の參觀人總數は二、三二五名なり。

第三 其の他

一出張

本年度に於て指導及調査、其の他の爲場員の出張せるは技師九回三二日、屬八回二三日、技手七三回二〇二日、助手五回七二日、副手一回一日なり。

二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件數は發送一、三〇六件、接受は一、二九四件なり。

渡島支場

第一 試験及調査

一 種藝に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種數	區	數	面積	積
豊凶考照試験		一		一八		一、七五〇
品種改良に関する試験及調査		八		八八八		一八、六三六
耕種に関する試験及調査		五		八〇		二、六六〇
其他の試験及調査		三		一〇		三九八
委託試験		一		五〇		三、三〇〇
計		一八		一、〇四六		二六、七四四

本試験は、普通作物、其の他各種の作物に就き、品種の選擇竝に育成、耕種肥培等に關する試験及調査を行ふを目的とす。而して本年の天候は積雪量平年に比して多かりしも、三月下旬高温なりしにより融雪急激にして四月一日融雪期に達したり。爾後の天候は概して順調に進み、六月中旬後半より七月上旬に互りて低温寡照に經過せるも、七月中旬末より恢復して高温多照となれり、爾後八月下旬及九月上旬前半に於て高温を示せる外は平年と大差なく經過せり。降水量は五月下旬に

稍多かりし外、七月上旬迄は平年と大差なかりしも、七月中旬後半より八月下旬に至り平年に比し著しく少なく、天候乾燥に失せり。其の後十月下旬迄は九月下旬及十月下旬に降水量多く、十月上旬に少なかりし外は平年と大差なく経過せり。天候前述の如かりしを以て、夏收作物中特に麦類は早害を被り減収を見たるも、秋收作物に於ては馬鈴薯、菽豆類、玉蜀黍は孰れも収量、品質共に良好にして、水稻は収量、品質共に平年に比して稍劣れり。其の他は概ね生育順調にして、病害蟲の發生ありたるも孰れも被害輕微なりき。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶参照試験（水稻、秋播小麦、春播小麦、燕麦、玉蜀黍、大豆、小豆、馬鈴薯、甜菜）
- 二 品種選抜試験（水稻、陸稻、秋播大麦、秋播小麦、春播小麦、蕎麥、馬鈴薯）
- 三 水稻品種特性調査
- 四 水稻新品種育成試験
- 五 産地別による水稻品種の特性比較調査
- 六 水稻苗仕立法に關する試験
- 七 水稻冷床育苗に關する試験
- 八 水稻冷床苗代播種期對移植期試験
- 九 水稻冷床栽培の栽植密度に關する試験
- 一〇 水稻冷床栽培の施肥量に關する試験
- 一一 適否試験（みぶよもぎ、大麻）

二 甜菜に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
品種改良に關する試験及調査		一		三四		八六四 <small>平方米</small>

本試験は、當地方に於ける適品種選擇に關する試験及調査を行ふを目的とす。
本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種比較試験

三 飼料作物に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
品種改良に關する試験及調査		二		九三		二、五九二 <small>平方米</small>
耕種に關する試験及調査		二		一九		六四八
肥料三要素に關する試験及調査		一		二四		三三六
其他の試験及調査		三		二五		四八六
計		八		一六一		四、〇六二

本試験は、當地方に於ける飼料作物に就き品種選擇並に耕種肥培に關する試験及調査を行ふを目的とす。
本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種比較試験（飼料用ビート、飼料用蕪菁、飼料用胡蘿蔔、禾本科牧草、荳科牧草）
- 二 チモンシ播種期試験

- 三 チモシー收穫期試験
- 四 三要素試験(飼料用玉蜀黍、チモシー)
- 五 赤クローバー採種に関する試験
- 六 青刈作物適否試験
- 七 飼料用玉蜀黍生育調査

右の内本年度完了し、農事指導資料として發表せるもの左の如し

一 飼料用ビート品種選抜試験

當地方に於ける飼料用ビートの良種を選抜せんとして行ひたるに、二箇年の試験成績に據ればパーレスストリーネ、最も良好にして、ドレットノート、シュガーマンゴールド之に順次するを認めたり。

四 園藝に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	数	區	數	面	積
品種改良に関する試験及調査			一二		一一三		四、五九〇
耕種に関する試験及調査			四		二三		一、一七九
其他の試験及調査			二		四		一〇〇
計			一八		一四〇		五、八六九

本試験は、當地方に於ける蔬菜及果樹の適品種選抜、耕種肥培等に関する試験及調査を行ふを目的とす。
本年度施行せる種類左の如し

イ 蔬菜に関する試験及調査

- 一 品種選抜試験(玉蜀黍(甘味種)、茄、蕃茄)
- 二 玉蜀黍(甘味種)播種期節試験

ロ 果樹に関する試験及調査

- 一 品種選抜試験(苹果、和梨、洋梨、櫻桃、葡萄)
- 二 品種特性調査(洋梨、桃、李、栗)
- 三 苹果袋掛の時期に関する試験
- 四 葡萄熟期に関する調査
- 五 梨果實用袋の種類及其の方法に関する調査
- 六 野生葡萄に関する調査
- 七 果樹作況調査(苹果、和梨、洋梨、葡萄)

五 土壤肥料に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	數	區	數	面	積
肥效に関する試験及調査			二		一八		六〇四
其他の試験及調査			一		八		八五〇

委託	六三	二一六	一三、四一八
計		二五二	一四、八七二

本試験は、當地方に於ける農耕地の地力維持増進を圖らんが爲、土壤の管理、肥料の種類、施用法及施用量等に關する試験及調査を行ふを目的とす。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 雨雪水による窒素天然供給量に關する調査
- 二 水稻石灰窒素施用法試験
- 三 ルーサン根瘤菌接種試験
- 四 委託試験
 - イ 地帯別肥料配給指導委託試験（八雲町、森町、尻岸内村、厚澤部村、利別村、東瀬棚村）
 - ロ ルーサン根瘤菌接種試験（八雲町）
 - ハ 鹿部村火山灰地委託試験

六 病害蟲に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	數	區	數	面積	積
病害蟲に關する試験及調査			二	二	四		一、四八九
病害に關する試験及調査					二		一、四八九

害蟲に關する試験及調査	五一	一三二	二五
計		一、五一四	

本試験は、當地方に於ける主要農作物に對する主なる病害蟲に關する試験及調査を行ふを目的とす。

- 一 二化性螟蟲に關する調査
- 二 麥類赤黴病と麥類品種との關係調査
- 三 麥類赤黴病防除試験
- 四 地方重要農作物病害蟲に關する調査
- 五 病害蟲の分布及發生狀況に關する調査（特用作物、飼料作物、綠肥作物）

七 農業經營に關する試験及調査

一 長萬部經營試験

本試験は、昭和九年の開始にして、各試験機關に於ける既往の試験及調査の成績を綜合し、噴火灣に面せる渡島國茅部郡（森町地方を除く）膽振國山越郡及虻田郡の一部の如き夏季東偏風に伴ひ、陰濕多冷なる氣候の影響著しき地方竝に之に類似の氣候狀態の地方に對する適當なる主畜農業經營法を知らんが爲、普通農家をして畑二〇町歩に乳牛飼養を主とする經營を實施せしめ、其の進捗に伴ひ漸次改善を加へ、地方農業經營の模範たらしめんとするにあり。而して本年農期間の天候は融雪稍遅れ、平年に比し東偏風の吹來竝に濃霧多き等、概して順調を缺きたる状態なりし爲夏收作物小麥は收量、品質に悪影響を來したるも、亞麻は成績稍良好なりき。又秋收作物に於ける玉蜀黍は平年に比し大差なかりし他は各作物共收量、品質共に稍低下を來せるも、附近農家に比すれば猶遙に良好にして、畜産は極めて順調に進み、總體に於ては豫期の成績を收め、地方農家を啓發せる處尠からざりき。

第二 普及事業

一 見本作

試験及調査に屬せざる各種作物を栽培し、事業上の参考に資すると共に參觀者に供覽せり。

二 種苗配付

種類名	配付數量	種類名	配付數量
水稻	八三・〇〇〇 <small>疍</small>	馬鈴薯	一・三〇〇 <small>疍</small>
小麦	二・〇〇〇	玉蜀黍	三五・〇〇〇
燕麥	〇・八〇〇		

三 農事指導

講習講話會、協議會、研究會、實地指導、其の他の爲、場員をして夫れ夫れ指導せしめたり。

四 質疑應答

農業上の各般の事項に互り書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

五 參觀人

本年度の參觀人總數は一、八〇二名なり。

第三 其他

一 出張

本年度に於て指導及調査、其の他の爲場員の出張せるは技師二一回六日、技手一七回四七日、其の他八回一六日なり。

二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件數は發送八八五件、接受八五〇件なり。

三 用地の整理

試験用地の一部に土地改良を施行し、試験の正確を圖れり。

根室支場

第一 試験及調査

一 種藝に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	数	區	面積	積
豊凶考照試験		二二		二一	八四〇 <small>平方米</small>
品種改良に関する試験及調査		一〇		一〇三	一、五五八
其の他に關する試験及調査		一		一四	二、八〇〇
計		三三		一三八	五、一九八

本試験は、當地方の風土に對する各種農作物の適否、品種の選擇等に關する試験及調査を行ふを目的とす。而して本年は一、二月の候低温にして且積雪量稍多かりしも、三月は天候稍好晴なりし爲融雪一時促進を見たり、然るに四月に入り曇天多く、爲に融雪期平年に比し八日遅延し、四月十三日なりき。融雪當時雪解水の停滞長く、秋播作物の冬損多かりしも爾後は高温なりしを以て凍結せる土壤の融解早く、耕鋤始は五月五日にして、平年と大差なく、各作物の播種は適期に之を行ひ得たり。其の後五月下旬一時低温なりしも、播種及發芽當時は天候一般に良好にして、發芽良整、稚苗當時六月十六日及二十日の兩日結霜を見たるも大なる支障を認めず。又コガネムシ幼蟲、地蚤類等により局所的に被害ありしも、生育一般に良

好なりき。七月上旬は冷濕なりしも、中旬に至りて天候漸次恢復し、氣温上昇各作物共生育良好なりき。然るに八月は降雨極めて多し、麥類は好天候中に大部分を收穫せしも、秋收作物は早魃の嫌ありて稍生育を阻碍せられたりき。九月六日、十六日、二十日には稍多量の降雨ありて生育再び進捗し、爾後は概して好晴なる天候多かりき。以上の如く異常なる天候なりしを以て麥類赤黴病の被害少なりしも、馬鈴薯は開花を見ざる品種及神谷薯に多少第二次發育を認め、甜菜褐斑病は例年に比して多く、又瑞典蕪菁に白腐病の發生も亦多かりき。

斯の如く本年度は氣温其の他の天候要素は總體的に變調の感ありしも、各作物共夫れ夫れ信憑すべき成績を擧げ得たり。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶考照試験(大麥、裸麥、秋播小麥、春播小麥、燕麥、玉蜀黍、蕎麥、大豆、小豆、菜豆、豌豆、馬鈴薯、甜菜、亞麻、春播菜種、蠶豆、飼料用玉蜀黍、瑞典蕪菁、飼料用ビート、飼料用胡蘿蔔)
- 二 品種選抜試験(春播小麥、玉蜀黍、蕎麥、大豆、菜豆、馬鈴薯、亞麻、秋播菜種)
- 三 適否試験(みぶよもぎ、大麻、果樹)
- 四 霜害豫防調査(蕎麥)

二 甜菜に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	数	區	面積	積
品種改良に関する試験及調査		一		二三	三四五 <small>平方米</small>

本試験は、當地方に於ける甜菜栽培に關する各種の試験及調査を行ふを目的とす。本年度施行せる種類左の如し

一 品種比較試験

三 飼料作物に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
品種改良に関する試験及調査		六		八三		一、七三三 <small>平方米</small>

本試験は、當地方に於ける飼料作物栽培に関する各種の試験及調査を行ふを目的とす。
本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種選抜試験（飼料用ビート、飼料用蕪菁、飼料用胡蘿蔔、瑞典蕪菁、禾本科牧草、苜蓿牧草）

四 土地改良に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
土性並に土地改良に関する試験及調査		三		四二		八四〇 <small>平方米</small>
委託試験		三		三七		七二〇
計		六		七九		一、五六〇

本試験は、當地方火山灰土壤の土地改良に関する試験及調査を行ふを目的とす。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 土性並に土地改良に関する試験及調査

- イ 火山灰分布調査

- ロ 土地改良試験（燕麥、馬鈴薯）

二 委託試験

- イ 土地改良試験（標津村、別海村、濱中村）

- ロ 混層耕に関する試験（中標津）

右の内本年度完了し、農事指導資料として發表せるもの左の如し

一 火山灰分布調査

本調査は火山灰分布の状態を知らんが爲厚岸、川上兩郡に就き行ひたるに、左の八地帯に類別するを得たり。

1. 虹別地帯
2. 厚岸、濱中、太田、標茶地帯
3. 久著呂地帯
4. 美留和地帯
5. 屈斜路地帯
6. 摩周地帯
7. 川湯地帯
8. 跡佐登地帯

五 土壤肥料に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
施肥法に関する試験及調査		一		四七		五四〇 <small>平方米</small>

本試験は、當地方に於ける農耕地の地力の維持増進を圖らんが爲、土壤の管理、肥料の種類及施肥法等に關し、各種の試験及調査を行ふを目的とす。
本年度施行せる種類左の如し

- 一 施肥法に關する試験（燕麥、玉蜀黍、菜豆、馬鈴薯、甜菜、亞麻）

六 病害蟲に調する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	數	區	數	面積	積
病害蟲防除に關する試験及調査		四		八二		一、八六〇
其の他の試験及調査		七		五五		八八八
委託試験		三		三五		一、八九〇
計		一四		一七二		四、六三八

本試験は、當地方に於ける主要作物に對する主なる病害蟲に關する試験及調査を行ふを目的とす。
本年度施行せる種類左の如し

- 一 瑞典燕菁白腐病藥劑防除に關する調査
- 二 麥類赤微病防除試験
- 三 コガネムシに對する驅除並に忌避劑比較試験
- 四 瑞典燕菁白腐病原菌に關する調査
- 五 瑞典燕菁品種と白腐病との關係調査

- 六 麥類赤微病と麥類品種との關係調査
- 七 蕁麻の栽培に關する調査
- 八 コガネムシの發生と土壤との關係調査
- 九 地方重要農作物病害蟲に關する調査
- 一〇 病害蟲の分布及發生狀況に關する調査（特用作物、飼料作物、綠肥作物）
- 一一 委託試験
 - イ 瑞典燕菁品種と白腐病との關係調査（標津村）
 - ロ 土地改良とコガネムシとの關係試験（濱中村）
 - ハ コガネムシに對する驅除並に忌避劑比較試験（濱中村）

七 農業經營に關する試験及調査

一 中標津經營試験

本試験は、昭和三年の開始に係り、其の目的は既往各試験及調査の成績を綜合して、根釧原野火山灰地帯に於ける適當なる農業經營法を立案し、農家をして之を經營せしめ、其の進捗に伴ひ漸次改善を加へ、以て地方農業經營の模範たらしめんとするにあり。而して本年の氣候は春季以來概して順調に經過せると、經營上特記すべき故障なかりしを以て、豫定の事業を遂行し得て、植産並に畜産共に豫期の收入を擧げ、地方當業者に對し合理的經營法が如何に必要なかを目睹せしめ、當業者を啓發せるところ尠からざりき。

第二 普及事業

一 見本作

試験及調査に屬せざる各種農作物を栽培し、事業上の参考に資すると共に、參觀者に供覽せり。尙養蜂の調査を行ひたり

二 種苗配付

本年度配付せる種苗の種類及數量左の如し

種類	名	配付數量	種類	名	配付數量
燕	麥	〇・三 _疋	馬	鈴	五・〇 _疋

三 農事指導

講習講話會、共勵會、共進會、協議會、實地指導、其の他の爲、場員をして夫れ夫れ指導せしめたり。

四 質疑應答

農業上各般の事項に互り書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

五 參觀人

本年度の參觀人總數は七一三名なり。

第三 其の他

一 出張

本年度に於て指導、調査及其他の爲場員の出張せるは技師一七回七八日、技手一五回三八日、其の他一〇回二九日なり。

二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件數は發送三三七件、接受六八一一件なり。

檜山試作場

第一模範作

本事業は、當地方に於ける農作物中農業經營上重要なものを選定し、一農場の縮圖的考案の下に一定輪作式を定め、合理的栽培を行ひ、以て地方農家に耕種肥培の範を示すと共に、其の收支と生産量の變遷とを調査し、經營上の參考に供せり而して本年は六月に於て低溫なりしと、八月中雨濕極めて少なく、不順の天候なりし爲裸麥、馬鈴薯、菜豆、粟は稍其の影響を被りしも、其の他は大なる影響なく良好に生育を遂げ、前箇年平均收量に比して増收を示せり。其の收支狀況は農産物市價の高値を示せる爲、菜豆、粟を除き他は孰れも良結果を收め得たり。之を當地方農家の栽培状態に比するに成績良一般當業者を啓發するところ尠からざりき。

第二試験及調査

一 種藝に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	數	區	數	面	積
豊凶考照試験		八		一二		四六二二 <small>平方米</small>

品種改良に關する試験及調査	耕種に關する試験及調査	其の他の試験及調査	委託試験	計
九	一六	五	七	四五
七〇	四八	一七	四一	一八八
一、四七八	九〇八	六二七	六七七	四、一五二

當地方に於ける本年の天候は、融雪期平年に比して早く且、播種當時の天候順調なりしを以て、各作物共播種は適期に行はれ、發芽の狀況も良好整一なりき。而して爾後の天候は五月中、下旬及六月中低溫不順なりしと、八月上、中旬過乾の天候なりしも、他は概して順調に經過せり。夏收作物中裸麥は五月下旬並に六月中の天候不順の影響を受けて良好の生育を遂げ得ざりしも、燕麥、小麥は八月に於て雨濕少なりしを以て、例年に比し倒伏少なく、且赤銹病、赤黴病の被害極めて少なく、成熟良好にして増收を示せり。秋收作物中水稻にありては二化性螟蟲、浮塵子、小豆はマメノアブラムシ並に夜盜蟲の被害多く、良好の成熟を遂げざりしも、其の他は良好に登熟し、平年に比して増收を示せり。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶考照試験（水稻、裸麥、秋播小麥、燕麥、玉蜀黍、大豆、小豆、馬鈴薯）
- 二 品種選抜試験（水稻、陸稻、秋播大麥、秋播小麥、春播小麥、大豆、馬鈴薯）
- 三 水稻苗仕立法に關する試験
- 四 水稻冷床育苗に關する試験
- 五 水稻冷床苗代播種期對移植期試験
- 六 大豆畦幅對株間距離試験
- 七 適否試験（高粱、みぶよもぎ、苧麻）
- 八 收量調査（菊芋、大麻）

九 委託試験

イ 水稻苗仕立法に関する委託試験(厚澤部村)

右の内本年度完了し、農事指導資料として発表せるもの左の如し

一 大豆畦幅對株間距離試験

本試験は、晩熟大豆に適當なる畦幅對株間距離を知らんが爲行ひたるに、畦幅六〇糎株間二〇糎區の優るを認めたり。

二 甜菜に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面	積
品種改良に関する試験及調査		一		八		二六四 <small>平方米</small>

本年度施行せる種類左の如し

一 品種比較試験

三 飼料作物に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面	積
品種改良に関する試験及調査		二		二八		四六二 <small>平方米</small>

本年度施行せる種類左の如し

一 稗品種選抜試験

四 土性、施肥標準及土地改良に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

委託試験の種類	種類	種類数	區	數	面	積
		一		一〇		一六五 <small>平方米</small>

本年度施行せる種類左の如し

一 水稻施肥標準調査現地肥料配合委託試験(泊村字越前町)

五 土壤肥料に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面	積
三要素適量に関する試験及調査		二		三六		三六〇 <small>平方米</small>
其の他の試験及調査		三		一五		一五〇
計		五		五一		五一〇

本年度施行せる種類左の如し

- 一 燕麥對三要素適量查定試驗
- 二 燕麥對三要素適量查定試驗殘肥試驗
- 三 馬鈴薯對堆肥施用量試驗

六 病害蟲に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の大要左の如し

試験及調査の種類	種類	数	區	數	面積	積
病害蟲に關する試験及調査		一〇		四六		一、三一九
委託試験		二		四六		一、三一九
計		一二		四六		一、三一九

本年度施行せる種類左の如し

- 一 地方重要農作物病害蟲に關する調査
- 二 病害蟲の分布及發生狀況に關する調査 (特用作物、飼料作物、綠肥作物)
- 三 委託試験
 - イ 大豆品種と大豆萎黃病との關係試験 (厚澤部村)
 - ロ 大豆萎黃病と石灰窒素との關係試験 (厚澤部村)
 - ハ 大豆萎黃病と間作との關係試験 (厚澤部村)
 - ニ 大豆萎黃病と輪作に關する試験 (厚澤部村)

第三 普及事業

一 見本作

試験に屬せざる各種農作物を栽培し、事業上の參考に資すると共に參觀者に供覽せり。

二 種苗配付

本年度配付せる種苗の種類及數量左の如し

種類	配付數量	種類	配付數量
水稲	四・八〇	稗	一・二〇
裸麥	一・三〇	大豆	六三・四〇
玉蜀黍	六・七〇		

三 農事指導

講習講話會、協議會、研究會、共勵會、實地指導、其の他の爲場員をして夫れ夫れ指導せしめたり。

四 質疑應答

農事各般の事項に互り書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

五 參觀人

本年度の參觀人總數は一、一七五名なり。

一一四

第四 其の他

一 出張

本年度に於て指導及調査、其の他の爲場員の出張せるは農林技手五五回九九日、其の他一回一日なり。

二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件數は、發送五〇二件、接受五一四件なり。

三 用地の整理

本年度に於て試験用地の土地改良、排水溝の新設及浚渫等をなせり。

俱知安試作場

第一 模範作

本事業は當地方に於ける農作物中農業經營上重要なものを選定し、一農場の縮圖的考案の下に一定輪作式を定め合理栽培を行ひ、以て地方農家に耕種肥培の範を示すと共に其の收支と生産量の變遷とを調査し經營上の参考に供せり。

以上の外本場農業經營部の事業を分擔して左記經營試驗竝に經營改善の指導監督を行ひたり。其の成績左の如し

一 喜茂別經營試驗

本試驗は既往の試験及調査の成績を綜合して立案したる畑作と養畜とを併せ行ふ傾斜地農業經營を實地に農家を入れて、畑一八町歩内七町二反五畝歩を耕作し、家畜は耕馬一頭、搾乳牛三頭、犢一頭、豚三頭、雞五羽、七面鳥四羽を飼養せり。而して本年の天候は六月上旬迄高温に經過し、六月中旬より七月上旬に互り曇雨天多く低温を示し、爾後漸次恢復したるも降水量極めて少なき八月を終り、九月は一時低温多雨寡照、十月漸く好天となる等概して變化多かりき。以上の如き天候なりし爲玉蜀黍、黍、茶豆、南瓜、牧草等は旱害を被り、平年に比し甚だ劣れり。然れども其の他に支障なかりしを以て豫期に近き成績を擧げたり。

二 熱郭經營試驗

本試験は濃霧の爲氣候比較的冷濕、且土壤重粘なる濕地地帯に適する農業經營法を案出せんとし、既往の試験及調査の成績を綜合し畑作と養畜とを併せ行ふ經營即ち畑一五町歩、内一二町歩を耕作し、其の他は樹林地、放牧地、排水、道路用地等にする豫定なるも本年は畑五町二反八畝二八歩を付し、家畜は耕馬一頭、搾乳牛三頭、雞五羽を飼養せしめたり。而して本年の天候は前述の如く極めて變化多き適順を缺きたる天候なりし爲一般作物は旱害を見たるも、本農場は濕地多き爲被

一一五

害僅少にして概して豫期の成績を見たり。

三 岩尾別經營改善
本事業は昭和七年の開始に係り、膽振國虻田郡俱知安町岩尾別の安達勇氏に依託施行中のものにして羊蹄山麓を南北に流るる尻別川右岸の俱知安町、小澤村、南尻別村一帯に存在する荒蕪地帯に於て既往の試験及調査の成績に基き酸性矯正及深耕、堆肥綠肥の増産施用、輪作式の樹立、合理的施肥等により土地改良と地力の維持増進とを圖り之に伴ふ農業經營上各般の改善を行はんとし、畑二六町九反七畝歩、内七町九反歩を耕作し、家畜は耕馬一頭、搾乳牛六頭、犏一頭、雞五羽を飼養せり。而して本年の天候は六月に於て一時低溫なりしと七月下旬より八月の過乾とにより支障を被りたるものありしも、生産物の價格騰貴により豫期の成績を収めたり。

第二 試験及調査

一 種藝に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	数	區	數	面	積
豊凶考照試験		一四		一九		九五〇 <small>平方米</small>
品種改良に関する試験及調査		九		八四		一、五八二
耕種に関する試験及調査		二		一九		二三〇
其他の試験及調査		七		四七		九五五
計		三二		一六九		三、七一一

當地方に於ける本年の氣候は、冬季の積雪平年に比し多かりしも、融雪期は平年と大差なかりき。然るに融雪後の天候は五月初より六月上旬迄概して適順なりしが、爾後低冷にして天候の變化多く、殊に六月十七、十八日の兩朝には水霜を見るに至れり。而して七月中旬より天候漸次恢復して高溫を示すに至りたるも、多照にして降水なく、稀有の旱魃を呈し八月下旬に及べり。九月に入りて上旬の氣溫高かりしも、其の後著しく低下し、連日の降雨により寡照、十月中旬に至り恢復を見たるも概して天候の順調を缺きたり。
氣候前記の如かりしを以て作況は畑作中秋播菜種、豌豆、亞麻を除く外は全部旱害により減收を示し、水稻は良好なるを認めたり。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶考照試験（水稻、大麥、裸麥、春播小麥、燕麥、玉蜀黍、大豆、小豆、菜豆、豌豆、馬鈴薯、甜菜、亞麻、秋播菜種）
- 二 品種選抜試験（水稻、秋播大麥、秋播小麥、蕎麥、大豆、菜豆、馬鈴薯、亞麻、秋播菜種）
- 三 耕鋤時期試験（大麥、燕麥、馬鈴薯）
- 四 水稻苗仕立法に関する試験
- 五 適否に関する試験（スキートクローパー、高粱、薄荷、苧麻、みぶよもぎ、果樹、蔬菜）

二 甜菜に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	數	區	數	面	積
品種改良に関する試験及調査		一		二八		三三〇 <small>平方米</small>

本年度施行せる種類左の如し

一 品種比較試験

三 飼料作物に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
品種改良に関する試験及調査		三		二	二	六四八
耕種に関する試験及調査		一		四	〇	一三〇
其の他の試験及調査		三		八	〇	二五〇
計		七		三	四	一、〇二八

本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種選抜試験(種、飼料用胡蘿蔔、飼料用南瓜)
- 二 ライ麦青刈試験
- 三 適否に関する試験(飼料用葉菜類、アルサイクローパー)

四 土壤肥料に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
三要素適量に関する試験及調査		一		八	〇	一八〇
肥料に関する試験及調査		二		一	六	三九六
其の他の試験及調査		二		四	〇	一
計		五		三	八	五七六

本年度施行せる種類左の如し

- 一 菜豆對窒素用量試験
 - 二 大豆對トーマス燐肥肥效比較試験
 - 三 麥類の間作及跡作綠肥試験(燕麥、蕎麥、菜種、黃花ルービン)
 - 四 酸性土壤對石灰有效年限査定試験(馬鈴薯)
 - 五 酸性土壤矯正用セメントダストの效果試験(燕麥、甜菜)
- 右の内本年度完了し、農事指導資料として發表せるもの左の如し
- 一 菜豆對窒素用量試験
- 本試験は當地方菜豆栽培に當り窒素施用量の多少が收量に及ぼす關係を知らんが爲行ひたるに、陌當七五疋迄は其の施用量を増加するに隨ひ收量漸増するを認めたり。

五 病害蟲に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	数	區	数	面	積
病害蟲に關する試験及調査	三			七		三三六 <small>平方米</small>

本年度施行せる種類左の如し

- 一 菜豆炭疽病防除試験
 - 二 地方重要農作物病害蟲に關する調査
 - 三 病害蟲の分布及發生狀況に關する調査(特用作物、飼料作物、綠肥作物)
- 右の内本年度完了し、農事指導資料として發表せるもの左の如し

一 菜豆炭疽病防除試験

本試験は菜豆「大福」の炭疽病に對するボルドウ合劑撒布の効果を知らんが爲行ひたるに、其の撒布の効果顯著にして、撒布回数増加に隨ひ、又同一回数撒布の場合最後の撒布遅きに隨ひ被害少なく、收量に於ては三回撒布迄は回数多きに隨ひ増加するも、四回撒布のもの三回撒布のものとの差僅少なるを以て、勞力及藥劑の經濟上より見て、三回撒布中最後の撒布早きもの(第一回初葉期、第二回發芽後二十日目、第三回開花始)優れるを認めたり。

第三 普及事業

一 見本作

試験に屬せざる各種作物及花卉類を栽培し、事業上參考に供すると共に參觀者に供覽せり。

二 種苗配付

本年度に於て配付せる種苗の種類及數量左の如し

種類	配付數	種類	配付數
水稻	八三〇	大豆	一〇〇
大麦	〇六	菜豆	二三〇
裸麥	三六	碗豆	〇六
秋播麥	三六	馬鈴薯	一九八〇
春播麥	〇六	亞麻	〇六
燕麥	〇六	赤十字	一五八
蜀黍	七八一八	黃花	一四三二

三 農事指導

講習講話會、協議會、研究會、實地指導、其の他の爲場員をして夫れ夫れ指導せしめたり。

四 質疑應答

農業上各般の事項に互り書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

五 參觀人

本年度の參觀人總數は八一三名なり。

第四 其の他

一 出張

本年度に於て指導及調査、其の他の爲場員の出張せるは、農林技師二八回六四日、農林技手五回二一日、助手六回二〇日、助手一回三日なり。

二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件数は發送二四七件、接受四八二件なり。

三 用地の整理

試験用地の整理を行ひたり。

一三三

釧路試作場

第一 經營模範

一 鶴居經營試驗

本試験は、本場農業經營部の事業を分擔して指導監督せるものなるが、其の目的は釧路國內陸地方火山灰地帯に於ける畜農業經營を確立せんとするにありて、阿寒郡鶴居村に於て施行せり。本經營は總面積二〇町歩にして、内一五町歩よりは農家食糧及家畜飼料を生産し、食糧及飼料の自給を行ひ、他の五町歩は薪炭備林として耕馬の放牧を併せ行ふ方針なるも、本年度は開墾初年目にして、五町歩を畑地として經營し、傍伐木及倒木を利用して木炭製造の兼業を行ひたり。而して本年の氣候は播種當時の高温多照により、各作物共良整なる發芽をなし、爾後の天候引續き順調なりし爲、生育著しく旺盛なりしが、七月に入り低冷多雨過濕の天候持續せる爲一時作況不良となりたるも八月に入り氣溫急激に上昇し、各作物共作況著しく恢復し、瑞典燕菁が八月中旬白腐病の被害により減收せる外特記すべき故障なく、又家畜にありても特記すべき故障なく、附近農家に比して極めて有利なる經營を行ひ得て、地方農家を啓發せること尠からざりき。

第二 試験及調査

一 種藝に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

一三三

試験及調査の種類	種類	数	區	數	面	積
豊凶考照試験		一六		一八		四〇〇
品種改良に關する試験及調査		六		一一		二、四〇〇
耕種に關する試験及調査		一		二四		四〇〇
其他の試験及調査		二		一三〇		二、二〇〇
計		二五		二九三		五、四〇〇

當地方に於ける本年の氣候は、春季土壤凍結の融解早く、隨つて播種期一般に早かりき。播種後の天候は五月上、中旬は高温多照にして適温に恵まれ、地温著しく上昇せるを以て、各作物共發芽順調なりき。其の後六月上旬迄は高温、寡雨、多照なりしを以て、各作物共生育順調にして特記すべき支障なかりしに六月中旬以降氣温急激に低下し、同二十日には稀有の晩霜ありて玉蜀黍、菽豆類中小豆、菜豆に被害あり、特に泥炭地試験圃に於て被害大なりき。爾後引續き低温、多雨、寡照の陰曇なる天候持續し、海霧襲來亦多かりしも八月に入りては降雨極めて少なくして天候恢復し、特に中旬以降は近年稀に見る乾燥の天候なりしを以て、夏收作物中前記大麥、裸麥を除き、極めて優良なるを得たり。秋收作物にありては、菽豆類玉蜀黍、黍等は一時生育良好ならざりしも八月以降晩秋迄の好天候に恵まれて生育良進し、幸に良好なる成績を收めたり。然るに八月中旬以降飼料用根菜類中瑞典蕪菁及飼料用蕪菁には白腐病、飼料用胡蘿蔔には葉枯病の發生激甚を極め、收量、品質は例年より劣るを示せり。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶考照試験(大麥、裸麥、小麥、燕麥、玉蜀黍、黍、蕎麥、大豆、小豆、菜豆、馬鈴薯、飼料用玉蜀黍、瑞典蕪菁)
- 二 品種選抜試験(秋播大麥、燕麥、蕎麥、大豆、菜豆、馬鈴薯)
- 三 燕麥播種期節試驗

- 四 適否試験(大麥、裸麥、秋播小麥、春播小麥、秋播ライ麥、春播ライ麥、玉蜀黍、黍、稗、粟、蕎麥、大豆、小豆、菜豆、豌豆、馬鈴薯、甜菜、秋播菜種、みぶよもぎ、大麻、芋麻、菊芋、飼料用玉蜀黍、瑞典蕪菁、飼料用ビート、飼料用胡蘿蔔、飼料用蕪菁、牧草)

右の内本年度完了し、農事指導資料として發表せるもの左の如し

- 一 品種選抜試験(燕麥、大豆、菜豆、馬鈴薯)
本試験は各作物の當地方に適する良品種を知らんが爲行ひたるに、燕麥は「白片穗」、「ピクトリー一號」、「獨乙黒」等相順次して良好なるを示し、大豆は「大谷地二號」、「霜不知一號」、「奥原大豆」、菜豆は「紅金時」、「常富長鶉」、「菊地長鶉」、「丸長鶉」、馬鈴薯は澱粉用としては「明星」、「ペポー」、「紅丸」、「咸南白」、食用としては「北海白」、「アーリーローズ」、移出用としては「メークケン」孰れも當地方に適する良品種なるを認めたり。
- 二 燕麥播種期節試驗
本試験は當地方に於ける燕麥の播種適期を知らんが爲行ひたるに、其の播種期間は品種により相違し「早生燕麥一號」は最も範圍廣く五月三十日頃迄、「ピクトリー一號」及「スコッチポテート」は五月二十日頃迄可能なるを以て播種に當りては晩熟種を先にし、中熟種、早熟種の順に播種するを有利と認めたり。
- 三 適否試験
本試験は、當地方泥炭地に適する作物の種類を知らんとして行ひたるに、燕麥、玉蜀黍、黍、稗、粟、大豆、小豆、菜豆、馬鈴薯、飼料用玉蜀黍、瑞典蕪菁、飼料用ビート、飼料用胡蘿蔔、チモシー、赤クローバー等は孰れも適するを認めたり。

二 甜菜に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
品種改良に関する試験及調査		一		二八		四〇〇 <small>平方米</small>

本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種比較試験

三 飼料作物に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
品種改良に関する試験及調査		六		一〇五		一、八〇〇 <small>平方米</small>
耕種に関する試験及調査		四		三五		七五八
牧野に関する試験及調査		一		三八		七六〇
肥料に関する試験及調査		一		一六		三二〇
其他の試験及調査		二		一六		三二〇
計		一四		二一〇		三、九五八

本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種選抜試験(飼料用ビート、瑞典蕪菁、飼料用蕪菁、飼料用胡蘿蔔、禾本科牧草、荳科牧草)
- 二 牧草播種期節試験(チモシー、赤クローバー)
- 三 赤クローバー、アルサイククローバー採種試験

- 四 チモシー收穫時期試験
 - 五 牧草三要素試験(チモシー、赤クローバー)
 - 六 牧野造成に関する試験(チモシー、赤クローバー、ホワイトクローバー)
- 右の内本年度完了し、農事指導資料として發表せるもの左の如し
- 一 牧野造成に関する試験
- 本試験は、當地方低位泥炭地を直に牧草地とする場合の適當なる方法を知らんが爲行ひたるに「野地坊主細斷後牧草を播種せるもの」最も合理的方法なるを認めたり。

四 土地改良に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
土地改良に関する試験及調査		三		一〇五		一、二〇〇 <small>平方米</small>

本年度施行せる種類左の如し

- 一 客入土壤の種類に関する試験(燕麥、大豆、馬鈴薯)
 - 二 酸性矯正に関する試験(裸麥、燕麥、大豆、豌豆、馬鈴薯、甜菜)
 - 三 燒土の回数と程度に関する試験(燕麥、大豆、馬鈴薯)
- 右の内本年度完了し、農事指導資料として發表せるもの左の如し
- 一 客入土壤の種類に関する試験
- 本試験は當地方低位泥炭地に對する客入土壤の適當なるものを知らんとして行ひたるに、各種土壤共客土の効果あるも、

就中阿寒川沿岸の沖積砂壤土並に上層沖積砂土は效果顯著なるを認めたり。
 二 酸性矯正に關する試験
 當地方低位泥炭地に對する酸性矯正の適量を知らんとして施行せるに、各作物共水素イオン濃度指數(PH)六・二乃至六・五を以て適當なるを認めたり。

五 土壤肥料に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	數	區	數	面	積
肥料に關する試験及調査			六		一二五		二、一五〇 _{平方米}

本年度施行せる種類左の如し

- 一 開墾法と三要素に關する試験(燕麥、大麥、馬鈴薯)
 - 二 燕麥對窒素適量查定試験
 - 三 泥炭堆肥製造法に關する試験(燕麥、大豆、馬鈴薯)
 - 四 綠肥作物に關する試験(赤クローバー、アルサイククローバー、ホワイトクローバー、クリムソンクローバー、コンモンベッチ一號、サンドベッチ、黄花ルービン、綠肥用大豆)
- 右の内本年度完了し、農事指導資料として發表せるもの左の如し
- 一 泥炭堆肥製造法に關する試験
- 當地方低位泥炭土を材料として泥炭堆肥を製造する適當の方法と併せて肥效を知らんとして施行せるに「泥炭を消石灰にて處理後新鮮既肥と交互に堆積せるもの」、「泥炭を消石灰にて處理後石灰窒素と交互に堆積せるもの」は最も優良なるを認めたり。

めたり。

六 病害蟲に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	數	區	數	面	積
病害蟲に關する試験及調査			五		五五		二、〇〇〇 _{平方米}

本年度施行せる種類左の如し

- 一 麥類赤黴病防除に關する調査(春播小麥、燕麥)
- 二 瑞典燕菁白腐病防除に關する調査
- 三 ヨタウガ竝にキタバコガ發生期調査
- 四 地方重要農作物病害蟲に關する調査
- 五 病害蟲の分布及發生狀況に關する調査(特用作物、飼料作物、綠肥作物)

第三 普及事業

一 見本作

試験及調査に屬せざる蔬菜、小果樹、花卉類を栽培し、事業上の参考に資すると共に參觀者に供覽せり。

二 種苗配付

本年度配付せる種苗の種類及數量左の如し

種類名	配付數量	種類名	配付數量
燕麥	二〇・〇 ^担	大豆	三〇・〇 ^担
蜀黍	三〇・〇	馬鈴薯	五〇・〇
菜豆	二〇・〇		

三 農事指導

講習講話會、品評會審査、實地指導、其の他の爲、場員をして夫れ夫れ指導せしめたり。

四 質疑應答

農業上各般の事項に互り書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

五 參觀人

本年度の參觀人總數は九八〇名なり。

第四 其の他

一 出張

本年度に於て指導及調査、其の他の爲場員の出張せるは、農林技手三〇回一二二日なり。

二 文書の發送及接受

本年度に於て公文書の發送件數は一九五件にして、接受は三七五件なり。

三 用地の改良及整理

用地の開墾並に土地改良の爲暗渠を掘鑿し、酸性矯正等を行ひたり。

美深試作場

1111

第一 模範作

本事業は、當地方農作物中主要なるものを選定し、一農場の縮圖的組織の下に、一定の輪作式により合理的なる栽培を行ひ、地方農家に耕種肥培等の範を示すと共に、其の收支と生産量の變遷とを調査し、農業經營の參考資料たらんことを期せり。而して本年の氣候は六月中、下旬氣溫低く、六月十七日には嚴霜を見たるも七月上旬よりは氣溫急激に上昇し、爾後極めて高温持續するに至り、七月上旬及八月上、中旬は著しく寡雨多照にして乾燥に失したり。然るに九月に入りては連日雨天持續し、降水量は近年稀有の多量を示し、畑作物に對しては天候稍不順に經過せり。

前記の如き氣候なりしを以て夏收作物中亞麻の生育良好にして増收を示せるも、裸麥、春播小麥及燕麥等は過乾の影響を被り減收を示し、秋收作物中小豆及菜豆は霜害を被り、其の被害は小豆に少なりしも菜豆に多く、且其の他の各作物と同様旱害を被りし爲一般に減收を示せり。然れども輪作式並に耕種法合理的なりしを以て、附近農家に比し優り、當業者を裨益する處尠からざりき。

第二 試験及調査

一 種藝に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	數	區	數	面積
豊凶考照試験		二		一八	八三〇 <small>平方米</small>
品種改良に關する試験及調査		七		一九九	二、八六四
耕種に關する試験及調査		七		一八二	二、二九五
其の他の試験及調査		五		二七	六二〇
計		二二		四二六	六、六〇九

當地方に於ける本年の氣候は、融雪早かりしを以て、各作物共に適期に播種するを得、發芽の状況良好整一なりき。發芽後の天候は六月中、下旬氣溫低く、六月十七日嚴霜を見る等天候不順なりしも、菜豆のみに輕微なる霜害を見たる外特記すべき故障なく、七月に入りては氣溫高く、上旬は著しく寡雨多照にして乾燥に失せる爲、夏收作物にありては生育阻碍せられ減收せるものあり。爾後八月上旬以降も亦著しく高温、寡雨、多照にして、乾燥に失せる爲、秋收作物にありては旱害を被り、生育阻碍せられ減收を示せり。殊に陸稻にありては旱害甚しく、著しく減收を示し、又九月に入りて急激に著しく多雨なりし爲、馬鈴薯にありては二次生長をなし、殊に晩生種に其の發生多かりき。而して本年特に發生多かりし病害蟲は馬鈴薯夏疫病、大豆莢蠹蟲、根切蟲等なりき。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶考照試験（水稻、大麥、裸麥、秋播小麥、春播小麥、燕麥、玉蜀黍、大豆、小豆、菜豆、豌豆、馬鈴薯、甜菜亞麻、秋播菜種）
- 二 系統生産力檢定試験（陸稻、秋播大麥、馬鈴薯）
- 三 馬鈴薯培土法に關する試験
- 四 馬鈴薯を主とせる輪作法に關する試験（馬鈴薯、燕麥、菜豆、赤クローバー）
- 五 馬鈴薯跡地に於ける綠肥作物收量調査（赤クローバー、黃花ルービン、コンモンベツチ、秋播菜種、燕麥、秋播ラ

1111

イ麦、大豆)

- 六 水稻耐冷性品種選抜試験
- 七 水稻温床栽培用品種選抜試験
- 八 産地別による水稻品種特性比較調査
- 九 水稻品種特性調査
- 一〇 水稻直播期節試験
- 一一 水稻直播栽植距離試験
- 一二 水稻直播播種量試験
- 一三 水稻苗仕立法に関する試験
- 一四 水稻温床栽培に於ける栽植密度に関する試験
- 一五 氣候と稲作との關係調査
- 一六 菊芋収量調査
- 一七 適否試験(みぶよもぎ、大麻、苧麻)

右の内本年度完了し、農事指導資料として發表せるもの左の如し

一 温床栽培用水稻品種選抜試験

本試験は温床栽培に適する品種を選抜せんが爲、粳種「坊主五號」外一一品種、糯種「北海糯一號」外二品種に就き行ひたるに、粳種にありては「早生富國」及「富國」は苗の生育良好、莖強く「坊主五號」に比して収量優り、品質は「富國」は青米稍多きも「早生富國」と共に良好にして、又「上育四六號」は莖強剛、成熟早く、且整一にして、収量は「坊主五號」と大差なきも不完全米少なく、粒形良く、色澤に富み、品質最も優り、孰れも温床栽培用品種として恰適し、糯種にありては「北海糯一號」は莖強く、品質良好なるも収量劣り「栗柄糯」及「山崎糯」は莖軟弱にして品質稍劣るも「山崎糯」は比較的良好なるを認めたり。

二 甜菜に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
品種改良に関する試験及調査	一			一〇		一六五 <small>平方米</small>

本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種比較試験

三 飼料作物に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
品種改良に関する試験及調査	一			二二		四四〇 <small>平方米</small>

本年度施行せる種類左の如し

- 一 飼料用根菜類品種選抜試験(飼料用ビート、瑞典蕪菁、飼料用胡蘿蔔)

四 土壤肥料に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	数	區	数	面	積
三要素に關する試験及調査		二		一〇		一〇〇
三要素適量に關する試験及調査		四		三二		六一二
肥效に關する試験及調査		二		一九		四三五
其の他の試験及調査		二		三〇		二七八
計		一〇		九一		一、四二五

本年度施行せる種類左の如し

- 一 水稻對三要素試験
 - 二 水稻對三要素需要量に關する試験
 - 三 水稻對窒素用量試験
 - 四 水稻温床栽培に於ける本田施肥量に關する試験
 - 五 燕麥對窒素用量試験
 - 六 燕麥對磷酸用量試験
 - 七 燕麥對加里用量試験
 - 八 燕麥對トーマス磷肥殘效比較試験
 - 九 馬鈴薯對綠肥用黃花ルービン肥效試験
 - 一〇 馬鈴薯對堆肥用量試験
- 右の内本年度完了し、農事指導資料として發表せるもの左の如し
- 一 燕麥對窒素用量試験
- 本試験は、燕麥に對する窒素の適量を知らんが爲行ひたるに、窒素相當四〇疇區は收量並に差引收益共に優り、之より窒

素の施用量を増加するも收量及収益は却つて減少するを以て、相當四〇疇を以て限度とすべきを認めたり。

五 病害蟲に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	数	區	数	面	積
病害蟲防除に關する試験及調査		一		三〇		七四五
其の他の試験及調査		二		一		七四五
計		三		三〇		七四五

本年度施行せる種類左の如し

- 一 馬鈴薯凋萎病に關する調査
- 二 地方重要農作物病害蟲に關する調査
- 三 病害蟲の分布及發生狀況に關する調査(特用作物、飼料作物、綠肥作物)

第三 普及事業

一 見本作

試験及調査に屬せざる薄荷、除蟲菊、藥草、花卉、果樹、蔬菜等を栽培し、事業上の參考に資すると共に、參觀者に供覽せり。

二種苗配付

本年度配付せる種苗の種類及數量左の如し

種類名	配付數量	種類名	配付數量
水稲	一三五 <small>疍</small>	種	九 <small>疍</small>
陸稲	二〇〇	蕎麥	五〇
大麥	一〇	大豆	二〇〇
秋播小麥	一〇・一	小豆	六〇
春播小麥	三〇〇	豌豆	一・二〇
燕麥	四五〇	碗豆	一〇〇
裸麥	一〇〇	馬鈴薯	八一八・五
秋播ライ麦	六〇	コンモンベツチ	二〇〇

三農事指導

本年度に於て講習講話會、協議會、研究會、品評會、實地指導、其の他の爲、場員をして夫れ夫れ指導せしめたり。

四質疑應答

本年度に於て農事上各般の事項に互り書面及口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

五參觀人

本年度の參觀人總數は六八二名なり。

第四 其の他

一出張

本年度に於て指導及調査、其の他の爲場員の出張せるは農林技手二三回六〇日、其の他一回二日なり。

二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件數は發送一四八件、接受二二二件なり。

三 用地の整理

暗渠排水新設及明渠の浚渫、客土等を行へり。

天鹽試作場

第一 經營模範

本經營は、天鹽地方に於ける畑作混同農業經營上の模範を示さんが爲、當場用地内に於て實際農家をして一定方案により七町五反歩の經營用地を供用して各種作物を栽培し、大家畜五頭（乳牛三頭、耕馬二頭）仔畜五頭（犢三頭、駒二頭）の外小家畜若干を飼育する經營を實施せしめたり。而して本年の氣候は播種後五月中、下旬並に六月中旬に於て一時低溫なりしと、六月中旬以降七月上旬に至る間は天候著しく乾燥に失せる外概して適順に経過せるを以て、燕麥、秋播小麥、稗、馬鈴薯、甜菜、亞麻、飼料用玉蜀黍等收量、品質共に優り、乳牛は三頭共分娩し、内一頭は乳房實質炎の爲搾乳困難にして乳量少なく、乳質劣りしも、他の二頭は産乳量多く、牝馬も亦分娩し、家畜賣却による収入多く、又餘剩勞力の利用による収入も多く、其の成績見るべきものあり、地方農家を啓發するところ尠からざりき。

以上の外本場農業經營部の事業を分擔して幌延經營試驗農場並に羽幌經營改善農場の指導監督を行ひたり。その成績次の如し

一 幌延經營試驗

前年に繼續し、天鹽國サロベツ泥炭地に於ける適當なる畑作混同農業經營方案を樹立して之を實施し、以て地方模範農場の域に達せしむると共に、同原野の開發を示唆せんが爲、實際農家をして總地積二七町三反五畝二五歩の内既墾地八町五反歩を供用して、各種作物を栽培し、大家畜四頭（乳牛二頭、耕馬二頭）及雞三〇羽を飼育して經營せしめたるに、本年の氣候は晩霜、早天、豪雨等の障碍多かりしにも拘らず、各種作物共相當の收量を擧げ、就中燕麥、稗、馬鈴薯、大豆、小豆、菜豆は共に優れる成績を示し、植産收入多かりき。而して畜産にありては牝牛は二頭共分娩せず、耕馬は一頭分娩せるのみ

なりしも、雞卵及牛馬の賣却により相當の収入を擧げ得たり。馬鈴薯は自家の澱粉工場にて加工して澱粉として賣却し、之亦相當の収益を擧げ得たり。

二 羽幌經營改善

前年に引續きて天鹽國苫前郡羽幌町築別高臺に於ける地力の増進、土地改良並に自給農家の確立を指導實施せしめんが爲實際農家の經營の内容並に土地の狀況を調査して之が改善の方案を樹立實施せしめつつあり。本年は夏季の天候著しく乾燥し、當農場の如き土性にありては特に其の害甚しく、各種作物共豫期の收穫を擧げ得ざりしが、家畜飼育の狀況は極めて順調にして、牝牛四頭、牝馬二頭は孰れも分娩し、仔畜の賣却、牛乳の賣却等によりて見るべき収益を擧げ得たり。

第二 試驗及調査

一 種藝に関する試驗及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	数	區	数	面積	積
豊凶考照試験		一三		一六		七二〇
品種改良に関する試験及調査		八		二四		二、八八〇
耕種に關する試験		四		二四		一、二六〇
其の他の試験及調査		三		六九		七二〇
計		五九		二二三		五、五八〇

本年の融雪期は四月五日にして、平年に比して一四日早く、其の後概して気温高く、多照寡雨なりし爲圃面の乾燥状況良好にして耕鋤播種も平年に比し大差なく行ふを得たり。

播種後の氣候は概して気温高く、各種作物共に發芽の状況佳良なりしに、五月中、下旬並に六月中旬は一時低温に経過し、五月二十二日及六月十七日には被害は認められざりしも結霜を見たり。其の後気温上昇し、六月中旬より七月上旬に至る間天候著しく乾燥に失せる爲、生育稍阻碍せられしものありしも、七月中旬に至り気温高く、適濕を得たりし爲各種作物共生育順調進捗せり。夏收作物は出穂及成熟期に雨害なく、登熟良好にして、收量、品質共に優り、秋收作物は生育順調に経過せるも、九月に入るや連日の暴風雨の爲、菜豆は莢中にて發芽し、小豆は莢葉の二次的生育を示し、登熟稍不整なりき。又馬鈴薯は莖葉の發育再び旺盛となり、薯塊の二次的發育及發芽の状を示し、殊に「ペポー」に褐色心腐病の發生多かりき。玉蜀黍にありては倒伏し且再度の降雹の爲莖葉に輕微なる損傷を見たる等により、品質は稍劣りたるも、收量は孰れも例年に比して優るを示し得たり。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶考照試験(裸麥、秋播小麥、春播小麥、燕麥、玉蜀黍、大豆、小豆、菜豆、豌豆、馬鈴薯、甜菜、亞麻、秋播菜種)
- 二 品種選抜試験(秋播大麥、秋播小麥、春播小麥、黍、蕎麥、大豆、馬鈴薯、秋播菜種)
- 三 適否試験(苳、みぶよもぎ、大麻、蔬菜、果樹)
- 四 播種期節試験(裸燕麥、玉蜀黍、稗、菜豆)
- 五 菊芋收量調査
- 六 菊芋の後作に關する調査

二 甜菜に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
品種改良に關する試験及調査		一		二四		七二〇 <small>平方米</small>

本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種比較試験

三 飼料作物に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
品種改良に關する試験及調査		六		八八		一、九〇〇 <small>平方米</small>
耕種法に關する試験及調査		六		七六		二、三〇〇
肥料要素に關する試験及調査		三		二四		五〇〇
肥料施用法に關する試験及調査		一		六		二一〇
其の他の試験及調査		三		二九		二八五
計		一九		二三		五、一九五

本年度施行せる種類左の如し

- 一 飼料用根菜類品種選抜試験(飼料用ビート、瑞典燕菁、飼料用燕菁、飼料用胡蘿蔔)
- 二 飼料用根菜類適否試験(飼料用ビート、瑞典燕菁、飼料用胡蘿蔔)

- 三 牧草品種選抜試験（禾本科牧草、荳科牧草）
- 四 牧草播種期試験（チモシー、赤クローバー）
- 五 牧草播種量試験（チモシー、赤クローバー）
- 六 牧草收穫期試験（チモシー、赤クローバー）
- 七 牧草三要素試験（チモシー、赤クローバー）
- 八 牧草地追肥試験

四 土壤肥料に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	数	区	数	面	積
三要素用量に関する試験			五		三五		九二〇 <small>平方米</small>
施肥法に関する試験			二		五二		一、六〇〇
肥料肥效に関する試験			二		一六		五二〇
緑肥に関する試験			二		一四		三二〇
土地改良に関する試験			二		三八		一、六一〇
計			一三		一五五		四、九七〇

本年度施行せる種類左の如し

- 一 燕麦對窒素用量試験
- 二 磷酸用量試験（燕麦、馬鈴薯）

燕麦對トーマス燐肥肥效試験

馬鈴薯對堆肥用量試験

馬鈴薯對石灰用量試験

菜豆對客土及石灰施用と地力との關係試験

綠肥用黄花ルービン肥效試験（馬鈴薯、甜菜）

右の内本年度完了し、農事指導資料として發表せるもの左の如し

一 燕麦對窒素用量試験

燕麦に就き窒素の適量を知らんが爲行ひたるに陥當四五砵（反當一貫二百匁）の窒素を施用するを最も適當と認めたり。

二 馬鈴薯對磷酸用量試験

馬鈴薯に對する磷酸の適量を知らんが爲行ひたるに磷酸施用の效果顯著にして陥當六〇砵内外施用するを適當と認めたり。

三 地力衰乏せる低位泥炭地に於ける地力増進調査

開墾以來無機質肥料のみの連用により甚しく地力衰乏せる畑地に對し地力増進法を知らんとして行ひたるに、斯種土壤に對しては堆肥の效果著しく、更に土壤酸性を矯正し客土を行ふときは、作物の收量、品質を向上せしむるの效果顯著なるを認めたり。

五 病害蟲に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	数	区	数	面	積
病害蟲に関する試験及調査			八		九五		一、五三〇 <small>平方米</small>

本年度施行せる種類左の如し

- 一 麥類赤黴病と麥類品種との關係試驗（秋播小麥、春播小麥、燕麥）
- 二 麥類赤黴病防除試驗（秋播小麥、春播小麥、燕麥）
- 三 地方重要農作物病害蟲に關する調査
- 四 病害蟲の分布及發生狀況に關する調査（特用作物、飼料作物、綠肥作物）

第三 普及事業

一 見本作

試驗及調査に屬せざる蔬菜、果樹、花卉並に樹木類を用地内に栽植し、事業上の参考に資すると共に參觀人に供覽せり。

二 種苗配付

本年度配付せる種苗の種類及數量左の如し

種類名	配付數量	種類名	配付數量
秋播麥	一六〇・〇 <small>疍</small>	小豆	二四・〇 <small>疍</small>
燕麥	一一〇・〇	菜豆	二六五・五
玉蜀黍	一・二		

右の外參觀人其他に對し蔬菜、草花等の苗を少量宛配付せり。

三 農事指導

講習講話會、協議會、研究會、共勵會、品評會、實地指導、其他の爲場員をして夫れ夫れ指導せしめたり。

四 質疑應答

農業上各般の事項に互り書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

五 土壤反應矯正用石灰量の檢定

酸性土壤の土地改良に資せんが爲、管内町村農會又は當業者の依頼に應じ、又は當場員の採取せる土壤に對し酸度の檢定を行ひたり。

六 參觀人

本年度に於ける參觀人總數は四四〇名なり。

第四 其他

一 出張

本年度に於て指導及調査、其の他の爲場員の出張せるは農林技師三四回七九日、農林技手九回二二日なり。

二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件数は發送一六二件、接受三四一件なり。

三 用地の整理

用地の土地改良竝に整理を行ひたり。

瀬棚試作場

第一 經營模範

本經營は當場及北海道農事試驗場本、支場に於ける既往の各種試驗及調査の成績を綜合し、瀬棚地方低位泥炭地に於ける理想的田作兼畑作經營を行はんとするにありて、水田より得たる植産収入を主體とし、畑作に於ては一部自家食糧及家畜飼料を生産し、且畜産収入及薬工品等の副業収入を擧げ、可及的自給自足の方針の下に水田三町二反九畝歩、畑地九反七畝歩灌漑溝及畦畔四反歩、其の他三反五畝歩、計五町一畝一步を經營し、其の家族五人、労働歩合二人四分を以て經營せしめたり。而して本年の氣候順調なりしを以て極めて良好なる成績を收め、地方當業者を裨益せるところ尠からざりき。

以上の外本場農業經營部の事業を分擔して、利別經營試驗竝に利別經營改善の指導監督を行ひたり。その成績次の如し

一 利別經營試驗

本試験は昭和五年設置、翌年より事業開始せるものにして、其の目的は地力著しく枯渴したる瀬棚地方段丘地帯に於て最も適當と認めらるる農業經營法を知らんとするにありて、既往の試験及調査の成績を綜合し立案したる畑八町一反五畝歩、牧草地一町歩、其の他八反五畝歩、計一〇町歩に馬一頭、搾乳牛二頭、仔畜（駒一頭、仔牛一頭）竝に小家畜等の飼養を併せ行ひ、成男換算勞力三・六人を有する實地農家を入れて經營せしめたり。而して本年の天候は六月中旬以後に於ける一時的低溫と八月に於ける早魃の爲各作物に被害を見たるも大なる減收に至らず豫定の成績を擧げたり。又家畜も駒一頭、仔牛一頭の増加を見る等成績良好にして地方農家を啓發する所尠からざりき。

二 利別經營改善

本經營は本年の開始に係り、瀬棚郡利別村字日進の田島市太郎氏に委託施行中のものにして、同地方高豪地の東南風多くして濃霧の害を被り且地味極めて瘠薄なる火山灰地に於て既往の試験及調査の成績を綜合し立案せる深耕及酸性矯正、堆肥緑肥の増産施用、防風林の設置、輪作式の樹立、合理的施肥等により地力の維持増進を圖り、之に伴ふ農業經營上各般の綜合的改善を行はんとするにありて、農場用地二七町歩の内七町一反歩を耕作し、家畜は耕馬一頭、搾乳牛二頭、犢二頭を飼養せり。而して本年の天候は六月中旬に於て一時低温なりしと八月に於ける旱魃とにより畑作物に被害を見たるも、合理的經營によりその被害大ならず、豫期の成績を收め、地方當業者の注目を惹けり。

第二 試験及調査

一 種藝に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	数	區	數	面積	積
豊凶考照試験		一〇		二三		一、七三四
品種改良に関する試験及調査		八		一二五		三、七四八
耕種に関する試験及調査		一		一五		三〇七
其他の試験及調査		三		五		一三八
計		二二		一六八		五、九二七

本年當地方に於ける天候は、春季高温を得たるを以て、融雪大に促進せられ、四月十日融雪期に達し、平年に比して八日早きを示せり。爾後概して高温なりしも、六月十三日より氣温低下し、降水量著しく少く一時不順なる天候を持続せるも七月十二日夜より同十三日早朝に互る豪雨の爲早魃状態を回復せるも爾後再び降水量少く乾燥に失せり。然るに九月に入り連續的降雨を見、堆積中の小麥の如き發芽せるものあり、九月下旬より漸く平常に復せり。以上の如き天候なりしを以て夏收作物、秋收作物共に極めて良好なる成績を收め得たり。而して本年發生せる病害蟲の主なるものは、水稻に稻泥負蟲の發生を見、麥類にありては裸麥にムギヒゲナガアブラムシ、針金蟲及ムギクロハモグリバ等の發生ありたり。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶考照試験（水稻、裸麥、秋播小麥、燕麥、玉蜀黍、大豆、小豆、馬鈴薯、甜菜、亞麻）
- 二 品種選抜試験（水稻、陸稻、秋播大麥、大豆、小豆、馬鈴薯、菊芋）
- 三 産地別による水稻品種特性調査
- 四 水稻苗仕立法に関する試験
- 五 適否試験（みぶよもぎ、大麻、苧麻）

二 甜菜に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	數	區	數	面積	積
品種改良に関する試験及調査		一		一一		五〇〇

本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種比較試験

三 飼料作物に関する試験及調査

一五二

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	面積	積
品種改良に関する試験及調査	三		一九	八四六 _{平方米}

本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種試験(青刈稗、飼料用蕪菁、牧草)

四 土壤肥料に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	面積	積
肥効に関する試験及調査	一	七	一二	五二二 _{平方米}
その他の試験及調査	二	二	一九	四九五
計	三			一、〇〇七

本年度施行せる種類左の如し

- 一 水稻對トーマス燐肥肥効比較試験
- 二 綠肥用黄花ルービン間作試験
- 三 ルーサン適否試験

右の内本年度完了し、農事指導資料として發表せるもの左の如し

- 一 水稻對トーマス燐肥肥効比較試験

低位泥炭地に於て、水稻に對するトーマス燐肥の肥効を知らんとして行ひたるに、全燐酸等量區にありては過燐酸石灰と大差なきも、有效態燐酸等量區にありては過燐酸石灰の優るを示し、更に第二作(殘效)を推算して比較するときは全燐酸等量區にありてはトーマス燐肥の肥効最も優り、過燐酸石灰、燐酸アルミナ之に順次し、有效態等量區にありては過燐酸石灰最も優り、トーマス燐肥、燐酸アルミナ等順次するを認めたり。

五 病害蟲に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	面積	積
病害蟲に関する試験及調査	二			

本年度施行せる種類左の如し

- 一 地方重要農作物病害蟲に関する調査
- 二 病害蟲の分布及發生狀況に関する調査(特用作物、飼料作物、綠肥作物)

第三 普及事業

一 見本作

試験に屬せざる普通作物、特用作物、蔬菜、花卉等を栽培し、事業上の参考に資すると共に參觀者に供覽せり。

一五三

二 種苗配付

本年度配付せる種苗の種類及數量左の如し

種類名	配付數量	種類名	配付數量
水稻	一〇・四九三 ^担	大豆	一・八七五 ^担
小麦	一・八〇〇	小豆	二・四二五
大麦	一・八〇〇	馬鈴薯	三〇・〇〇〇
蜀黍	四・〇五〇	菜種	一・二九三

三 農事指導

講習講話會、實地指導、其の他の爲場員をして夫れ夫れ指導せしめたり。

四 質疑應答

農業上各般の事項に互り書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

五 參觀人

本年度に於ける參觀人總數は三五一名なり。

第四 其の他

一 出張

本年度に於て指導及調査、委託試驗監督、其の他の爲場員の出張せるは農林技手一四回四四日、助手九回一六日なり。

二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件數は發送三九二件、接受三八六件なり。

三 用地の整理

既設排水溝の浚渫、暗渠排水溝の新設、其の他を行ひたり。

日高試作場

第一 經營模範

前年に繼續し、其の目的は従来の農事試験機關に於て得たる基礎的試験及調査の成績を綜合し、水田一町歩、畑四町歩に對し合理的農業經營法を立案し、農家をして實際に之が經營を行はしめ、以て地方農家に範を示すと共に農業經營改善の資に供せんとするにあり。而して本年は六、七月に於て一時天候適順を缺き、且旱魃となりたる外は、概して良好に經過したるを以て、孰れの作物も作況優るを認めたり。之を附近農家のものに比すれば合理的經營を行へる結果、其の成績良好にして、地方農家を裨益する所尠からざりき。

第二 試験及調査

一 種藝に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	數	區	數	面積	積
豐凶考照試験		一一		一八		七九二
品種改良に關する試験		九		九九		一、九二六

耕種に關する試験	其他の試験及調査	委託	計
七	五	一	三三
四六	五六	二四	二四三
九二六	七七三	七九二	五、二〇九

當地方本年の氣候は積雪多く、融雪期遅延せるも、爾後氣温は平年に比して高温を持續し、各作物共發芽良整なりき。然るに六月中、下旬一時冷涼となり、且七月に入り旱魃となり、作物によりては其の被害尠からざるものありたるも、天候の恢復するや各作物共回復し順調に生育を了せり。

收量に於ては小豆を除き夏收作物、秋收作物共に平年に比して増收を示したり。病害蟲は大麥、裸麥にムギクロハモグリバへ、玉蜀黍に玉蜀黍斑葉病、大豆にはダイヅクキタマバへ、小豆にはマメノメイガ、馬鈴薯には馬鈴薯疫病、甜菜には甜菜褐斑病、甜菜蛇眼病、水稻には稻泥負蟲等發生し、大ならざりしも夫れ夫れ被害を認めたり。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶考照試験（水稻、大麥、裸麥、春播小麥、燕麥、玉蜀黍、大豆、小豆、菜豆、馬鈴薯、甜菜）
- 二 品種選抜試験（水稻、陸稻、秋播大麥、春播小麥、燕麥、稗、小豆、馬鈴薯）
- 三 水稻苗仕立法に關する試験
- 四 春播菜種間引の距離並に時期に關する試験
- 五 春播菜種播種期試験
- 六 秋播菜種播種期試験
- 七 水田稗移植時期試験
- 八 洋種薄荷植替試験
- 九 洋種薄荷刈取回数試験

一〇 適否に関する試験(みぶよもぎ、大麻、苧麻、蔬菜、果樹、洋種薄荷)
 右の内本年度完了し、農事指導資料として発表せるもの左の如し
 一 水田稲品種選抜試験
 本試験は、當地方に適する優良種を知らんが爲施行せるに「滿洲」(日農試第五五八號)は收量最も多く優良なるを認めたり。

二 甜菜に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
品種改良に関する試験		一		二八		三三〇 <small>平方米</small>

本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種比較試験

三 飼料作物に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
品種改良に関する試験		二		三七		六六〇 <small>平方米</small>

耕種に關する試験 肥料に關する試験 其他の試験及調査	種類	種類数	區	數	面積	積
計		七一		一三五		二、〇九六
						九九〇
						二〇
						一一六
						三三〇

本年度施行せる種類左の如し

- 一 牧草種類試験(禾本科牧草、荳科牧草)
- 二 牧草播種期試験(チモシー、赤クローバー)
- 三 牧草播種量試験(チモシー、赤クローバー)
- 四 牧草收穫期試験(チモシー、赤クローバー)
- 五 牧草三要素試験(チモシー、赤クローバー)
- 六 青刈作物適否試験

四 土壤肥料に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
三要素適量に関する試験		一		一五		二四八 <small>平方米</small>
其他の試験		二		一七		三九六
計		三		三二		六四四

本年度施行せる種類左の如し

- 一 燕麥對三要素適量查定試驗
 - 二 煙草對窒素適量查定試驗
 - 三 水稻對堆肥用量試驗
- 右の内本年度完了し、農事指導資料として發表せるもの左の如し
- 一 燕麥對三要素適量查定試驗
- 當地方に於ける燕麥に對する三要素適量を知らんが爲施行せるに、窒素、磷酸は陌當五〇疍、加里は陌當二五疍を以て限度とすべきを認めたり。

五 病害蟲に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	數	區	數	面積	積
病害蟲に關する試験及調査	三			1		1

本年度施行せる種類左の如し

- 一 大豆莢蠹蟲に關する調査
- 二 地方重要農作物病害蟲に關する調査
- 三 病害蟲の分布及發生狀況に關する調査(特用作物、飼料作物、綠肥作物)

第三 普及事業

一 見本作

試験に屬せざる各種作物及花卉、蔬菜、果樹を栽培し、事業上の參考に資すると共に參觀者に供覽せり。

二 種苗配付

本年度配付せる種苗の種類及數量左の如し

種類	配付數量	種類	配付數量
水稲	一〇〇〇疍	大豆	七・七
春播小麥	一〇	小豆	五・五
燕麥	二〇〇	春播菜種	一〇
玉蜀黍	一〇	デントコーン	一五〇

三 農事指導

講習講話會、研究會、農事指導、其の他の爲場員をして夫れ夫れ指導せしめたり。

四 質疑應答

農事上各般の事項に互り書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

五 參觀人

本年度に於ける參觀人總數は一、二五三名なり。

第四 其の他

一 出張

本年度に於て指導及調査、其の他の爲場員の出張せるは農林技手一四回三七日、助手一回二日なり。

二 文書の發送及接受

本年度發送せる公文書は一六八件、接受せるもの三三五件なり。

三 用地の整理

灌漑溝及排水溝の浚渫、土地改良等を施行せり。

稚内試作場

第一 經營模範

本經營は既往の試験及調査の成績に基き、地方普通勞力を有する農家をして畑五町九反五畝步、採草地一町八反步、放牧地二町九反二畝步、其の他一町二反五畝步を經營せしめ、畑には飼料作物三町四反步、食糧作物一町三反步及販賣作物一町二反五畝步を作付し、家畜耕馬二頭、乳牛五頭、豚四頭、雞、兎等を飼養せり。而して本年の天候は播種後六月中旬に至る間及七月中旬より八月上旬の間に於て良好に經過せるも八月下旬に於て高温多照なりし外は概して不順なりし爲、畑作物の生育一般に良好ならず收量劣りしも、家畜は豚の成績劣りし外は概して良好なりき。以上を地方農家に比すれば成績良好にして、當業者を裨益する處尠からざりき。

本模範經營の外本場經營部の事業を分擔して沼川經營試験の指導監督を行ひたり。その成績左の如し

一 沼川經營試験

本經營は既往の試験及調査の成績に基き、地方普通勞力を有する農家をして畑五町三反七畝步、牧草地三町八反步、放牧地四町五反步、未墾地五町五反二畝步を經營せしめ畑には飼料作物二町四反步、食糧作物一町四反七畝步、販賣作物一町五反步、家畜は耕馬二頭、乳牛二頭、雞を飼養せしめたり。而して本年の天候は一時良好なりしも概して不順に經過せるを以て各作物共收量平年に比し劣り品質を損じたるもの多かりしも、家畜は成績良好なりき。之を地方農家に比すれば地力の増進により成績良好にして當業者を裨益するところ尠からざりき。

第二 試験及調査

一 種藝に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	数	区	数	面積	積
豊凶考照試験		一二		一四		七〇〇 <small>平方米</small>
品種改良に関する試験及調査		八		八九		二、六七〇
其の他の試験及調査		二八		四五		一、三二五
計		四八		一四八		四、六九五

當地方に於ける本年の氣候は、冬季間比較的氣温高く順調に経過せるを以て融雪早く、随つて耕鋤始も早く、播種期順調に進捗し、生育初期即ち六月中旬迄は順調なる経過を辿りしも、七月中旬より八月上旬に至り稍良好なる天候持續せしと、八月下旬高温多照順調に経過せるの外は概して不順なりき。爾後八月末期には多量の降雨ありて九月に入り、中旬よりは氣温降下し、且強風雨等あり。又日照少なく濕潤不良の天候に終始し、下旬より十月に入りては晝夜に於ける氣温の差甚しき等、適順を缺ける天候なりき。而して夏收作物中麥類は生育良好にして銹病の被害も少なく、ムギヒゲナガアブラムシ、キビクビレアブラムシの發生も微害に止まり、早害も少なく良好なる生育を遂げたり。然れども燕麥のみは燕麥斑葉病並に早害を受け、加ふるに登熟期に鳥害を被り良好ならざりき。秋播菜種は發芽後の生育良好に進みしも冬枯甚しく、且登熟期には鳥害を被り減収なりき。又秋收作物にありては玉蜀黍、甜菜の他は孰れも作況概して良好なりき。而して玉蜀黍は強風の爲倒靡せられ、小豆は霜害を被れり。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶考照試験(大麥、裸麥、秋播小麥、春播小麥、燕麥、玉蜀黍、大豆、小豆、菜豆、豌豆)
- 二 品種選抜試験(秋播大麥、秋播小麥、春播小麥、秋播ライ麥、燕麥、玉蜀黍、黍、蕎麥、馬鈴薯、秋播菜種)

三 水稻耐寒性調査

四 適否試験(みぶよもぎ、大麻、苧麻、蔬菜、果樹)

右の内本年度完了し、農事指導資料として發表せるもの左の如し

一 低位泥炭地作物適否試験

低位泥炭地に適する作物を知らんが爲秋播小麥外一四作物に就き行ひたるに、大麥、裸麥、秋播ライ麥、菜豆、豌豆、亞麻、瑞典蕪菁及飼料用ビートは低位泥炭地にありても相當の生産を擧げ得るを以て適作物と認められ、春播小麥は成熟中雨害による品質の低下あるも亦適作物たるを認めたり。而して秋播菜種は冬枯極めて多く好適作物とは認め難し。

二 甜菜に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	数	区	数	面積	積
品種改良に関する試験及調査		一		一五		四一〇 <small>平方米</small>

本年度施行せる種類左の如し

一 品種比較試験

三 飼料作物に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	数	区	数	面積	積
品種改良に関する試験及調査		七		七八		一、七二三 <small>平方米</small>

耕種に關する試験及調査	二	二	三九五
肥料に關する試験及調査	二	三四	七〇五
其他の試験及調査	三	六	一七五
計	四	三一	二、九九八

一六六

本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種選抜試験(飼料用玉蜀黍、飼料用ビート、瑞典蕪菁、飼料用蕪菁、飼料用胡蘿蔔、禾本科牧草、荳科牧草)
- 二 牧草播種量試験(チモシー、赤クローバー)
- 三 牧草三要素試験(チモシー、赤クローバー)
- 四 赤クローバー採種試験
- 五 ルーサン收量調査

四 土地改良に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	面積
土地改良に關する試験及調査	三	二四	六一〇

平方米

本年度施行せる種類左の如し

- 一 心土改良に關する試験(甜菜)
- 二 土壤酸性矯正石灰用量試験(裸麥、豌豆)
- 三 土壤肥力に關する試験及調査

五 土壤肥料に關する試験及調査

試験及調査の種類	種類	種類	面積
肥效に關する試験及調査	三	三八	六一六
其他の試験及調査	一	一五	三三〇
計	四	五三	九四六

平方米

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

- 一 綠肥用黄花ルービン肥效試験(馬鈴薯、甜菜)
- 二 燕麥對堆肥用量試験

六 病害蟲に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	面積
病害蟲に關する試験及調査	二	一	一

積

本年度施行せる種類左の如し

- 一 地方重要農作物病害蟲に關する調査
- 二 病害蟲の分布及發生狀況に關する調査(特用作物、飼料作物、綠肥作物)

一六七

第三 普及事業

一 見本作

試験に屬せざる蔬菜、果樹、花卉を栽培し事業上の参考に資すると共に參觀者に供覽せり。

二 種苗配付

本年度配付せる種苗の種類及數量左の如し

種類名	配付數量	種類名	配付數量
秋播小麦	三六五 ^疋	秋播ライ麦	三・五 ^疋
春播小麦	一・二	馬鈴薯	一五〇〇

三 農事指導

講習講話會、協議會、研究會、實地指導、其他の爲、場員をして夫れ夫れ指導せしめたり。

四 質疑應答

農業上各般の事項に互り書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

五 參觀人

本年度に於ける參觀人總數は二二二名なり。

第四 其他

一 出張

本年度に於て指導及調査、其他の爲場員の出張せるは農林技手二一回五八日なり。

二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件數は發送四八六件、接受四八五件なり。

三 用地の整理

用地の整理及排水溝の浚渫等を行ひたり。

美瑛試作場

第一 經營模範

本經營は從來各試驗機關に於て得たる試驗調査の結果を綜合應用し、上川高豪地方の畑作に對する合理的經營組織を立案し、當場用地内に實際農家をして六町七反歩を耕作せしめ、以て地方當業者に範を示し、農家經營改善の資に供せんとするにありて、主として販賣作物を栽培する外、自家食糧及家畜の飼料を栽培し、自給肥料を生産すると共に綠肥を栽培し、地力の維持増進を圖り、自給自足の方針により穀菽農業組織を以て經營せしめたるに、本年は氣候順調なりしと合理的耕種肥培の結果、良好なる成績を收め、地方農家を裨益せる處尠からざるを認めたり。

第二 試驗及調査

一 種藝に關する試驗及調査

本年度施行せる試驗及調査の概要左の如し

試驗及調査の種類	種類	數	區	數	面	積
豐凶考照試驗		一三		二一		一、〇〇〇 <small>平方米</small>
品種改良に關する試驗及調査		九		一〇三		三、八〇〇 <small>平方米</small>

其の他の試驗及調査

計	四	一三六	一八二	五、一八三
---	---	-----	-----	-------

本年當地方に於ける天候は、冬季間に於ては積雪深かりしも、三月上旬以降は著しく高温なりし爲、融雪期は豫期以上に進捗し、四月二十一日融雪期に達せり。融雪後春季の天候は稍乾燥に失せるも、高温にして概して順調なりしが、六月中、下旬は低温にして、就中六月十七日及同十八日は結霜せる地方ありき。七月上、中旬は高温多照にして適濕ありしも、七月下旬以降八月は早天持續し乾燥に失せり。秋季に入りては曇雨天多く低温なりしも、十月中旬以降は降水少なく順調に経過せり。随つて秋播小麦は冬枯なく、春季の生育順調に進捗し、品質、收量共良好なるを示し、其の他麥類、亞麻、豌豆等夏收作物は春季の順調なる天候並に夏季の乾燥等の影響を受け「春蒔小麦農林三號」、「札幌青手無一號」及亞麻輩の平年に比して收量劣れる外孰れも品質、收量共に平年以上の作況を示し、秋收作物は夏季の乾燥、秋季の降雨等の影響を受け、大豆、小豆、菜豆、甜菜等は減收し、就中小豆は品質、收量共著しく劣れるも、馬鈴薯、玉蜀黍等は増收を示せり。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豐凶考照試驗(大麥、裸麥、小麥、燕麥、玉蜀黍、大豆、小豆、菜豆、豌豆、馬鈴薯、甜菜、亞麻)
- 二 品種選抜試驗(陸稻、秋播大麥、秋播小麥、春播小麥、秋播ライ麥、燕麥、菜豆、馬鈴薯、亞麻)
- 三 適否試驗(みぶよもぎ、高粱、大麻、苧麻、蔬菜、果樹)

二 甜菜に關する試驗及調査

本年度施行せる試驗及調査の概要左の如し

試驗及調査の種類	種類	數	區	數	面	積
品種改良に關する試驗及調査		一		三四		一、〇〇〇 <small>平方米</small>

本年度施行せる種類左の如し

一 品種比較試験

三 飼料作物に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	区	数	面	積
品種改良に関する試験及調査		一		一		五〇〇〇
耕種に関する試験及調査		一		二		二、四〇〇
肥料に関する試験及調査		一		四		一、〇〇〇
その他の試験及調査		三		二		二、〇〇〇
計		六		一五		五、九〇〇

本年度施行せる種類左の如し

- 一 クローバー品種試験
- 二 牧草播種量試験(チモシー、赤クローバー)
- 三 牧草三要素試験(チモシー、赤クローバー)
- 四 赤クローバー播種に関する試験
- 五 牧草種類試験(禾本科牧草、荳科牧草)
- 六 ルーサン收量調査

四 土壤肥料に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	区	数	面	積
三要素適量に関する試験及調査		一		八		四〇〇〇
肥效に関する試験及調査		一		一六		四〇〇〇
計		二		二四		八〇〇〇

本年度施行せる種類左の如し

- 一 馬鈴薯對加里用量試験
- 二 燕麥對堆肥用量試験

五 病害蟲に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	区	数	面	積
病害蟲防除に関する試験及調査		一		一〇		一、〇五〇
その他の試験及調査		二		一		一、〇五〇
計		三		一〇		二、一〇〇

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豌豆莢蠹蟲防除試験
- 二 地方重要農作物病害蟲に関する調査
- 三 病害蟲の分布及發生狀況に関する調査(特用作物、飼料作物、綠肥作物)

第三 普及事業

一 見本作

試験に屬せざる各種作物を栽培し事業上の参考に資すると共に參觀者に供覽せり。

二 種苗配付

本年度配付せる種苗の種類及數量左の如し

種類名	配付數量	種類名	配付數量
陸稻	〇・四	菜豆	七八・六
小麥	八・〇	碗豆	〇・四
燕麥	一三・五	馬鈴薯	二七〇・〇
大豆	〇・四	赤クローバー	三・〇
小豆	〇・九	コンモンベッチ	二七

三 農事指導

講習講話會、品評會、實地指導、其の他の爲場員をして夫れ夫れ指導せしめたり。

四 質疑應答

農事上各般の事項に互り書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

五 參觀人

本年度の參觀人總數は六九八名なり。

第四 其他

一 出張

本年度指導調査、其の他の爲場員の出張せるは農林技手一七回四六日、助手一回一日なり。

二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件數は發送四五五件、接受四一七件なり。

三 用地の整理

防風林の整理、排水溝の浚渫、用地の整理等を行ひたり。

和寒除蟲菊試驗地

一七六

第一 試験及調査

一 種藝に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
品種改良に関する試験及調査				六	一五	二、六二四
耕種に関する試験及調査				五	一八五	五、五八二
計				九	八〇〇	八、二〇六

當地方本年は積雪極めて多かりしも四月に入り氣温概して高かりし爲、融雪期は平年と大差なかりき。五月上旬よりは氣候順調に經過し、五月下旬一時稍冷涼の感ありしも、後氣温上昇せり。然れども七月上旬に至る迄降雨概して少なかりき。氣候以上の如くなりし爲春季萌芽極めて良好にして、爾後の生育も亦好調を呈し、開花及收穫期は前年に比して三、四日早かりき。九月中旬以降に於て除蟲菊株齡若きもの稍早害の傾向を認めたるも爾後天候適順なりし爲生育も亦良好なりき。

- 一 品種及系統の保存
- 二 品種特性調査

- 三 系統分離に関する試験（一世代三年目及系統選抜豫備試験）
- 四 播種期對移植期試験
- 五 假植試験
- 六 栽植密度對施肥用量試験
- 七 收穫期試験
- 八 栽培年次の收量及除蟲菊有效成分に及ぼす影響に関する試験

二 土壤肥料に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
土壤に関する試験及調査				三	四四	二、四八六
肥料に関する試験及調査				五	八一	二、四八六
計				八	一二五	二、六九九

本年度施行せる種類左の如し

- 一 土性に關する試験
- 二 土壤反應に關する試験
- 三 三要素適量試験
- 四 肥料施用期試験
- 五 堆肥用量に關する試験

一七七

- 六 窒素質肥料種類肥效比較試験
- 七 肥料配合試験
- 八 地力減耗比較試験

三 病害蟲に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	数	區	数	面	積
病害蟲に関する試験及調査		二			六〇		一、四八五 <small>平方米</small>

本年度施行せる種類左の如し

- 一 除蟲菊萎縮病防除試験

第二 普及事業

一 質疑應答

除蟲菊栽培に關し書面又は口頭を以て質疑せるものに對し夫れ夫れ懇切に應答せり。

二 參觀人

本年度の參觀人總數は二〇〇名なり。

第三 其他

一 出張

本年度に於て指導及調査、其の他の爲場員の出張せるは、農林技手九回二八日、助手二回二一日なり。

二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件數は發送一四三件、接受二四四件なり。

三 用地の整理

木柵の修理及排水の浚渫等を行ひたり。

島松馬鈴薯玉蜀黍試験地

第一 試験及調査

イ 馬鈴薯の部

一 種薯に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
品種に關する試験及調査	品種改良に關する試験及調査	一		一七〇		一、一八八
		二		七二		三、六六三
地均し栽培	計	一		一		一七、三二五
		四		一		二二、一七六

本年度は春季の氣象狀況順調にして高温多照なりし爲生育良好なりしも、六月中、下旬より七月中旬に至る間比較的低温寡照にして生育遅々たりしが、其の後氣温の上昇を見、順調なる生育狀況を示したり。而して八月に入りて降水量少なく漸く旱害の虞ありしも、夜間より午前に至る濃霧に附隨する著しき結露ありしと、圃地の性質によりよく之に耐へ得概して良好なる生育を遂げたり。

尙病害としては一部品種に馬鈴薯萎縮病の被害著しきものありたるも、其他病害蟲の發生僅少にして、被害の著しきものなかりき。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種特性調査
- 二 新品種育成試験
- 三 雜種第一代個體選抜試験

ロ 玉蜀黍の部

一 種薯に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
品種改良に關する試験		一		三五		四、〇五九

播種當初より概して高温多照にして好天に恵まれ、八月は全月に亙り甚しき旱魃に出會せりと雖も、土質よく之が旱害を軽減して良好なる發育を遂げ、加ふるに病蟲害も亦其の被害僅少にして、登熟佳良なりき。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種特性調査
- 二 雜種強勢利用に關する試験

第二 普及事業

一 參觀人

本年度の參觀人總數は三八六名なり。

第三 其他

一 出張

本年度に於て農事調査、其の他の爲場員の出張せるは農林技師三四回一五七日、農林技手一回三三日、其他六回一五日なり。

二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件數は發送二〇件、接受一一一件なり。

三 其他

一 建物の建設

本年度建設せる建物左の如し

收納舎	一棟	四〇坪
貯藏庫	一棟	二四坪
吹抜小屋	一棟	三二坪

二 用地の整理改良
本年度に於て試験用地二町歩の土地改良を行ひたり。

原種圃

一 米原種圃

米原種圃は第八期原種配付計畫に基き、水稻一七品種の原種を郡市農會に配付せんが爲、之が生産を行ひたり。其の栽培面積、生産及配付數量左の如し

作物名	品種	數	栽培面積	生産數量	配付數量
水	稻	一七	三三・五一 ^反	一二〇・三六六 ^石	六四・二二七 ^石

備考 配付數量は配付計畫に基き配付せるもののみなり。

二 小麥原種圃

本原種圃は、小麥増殖計畫に基き、秋播種二品種、春播種一品種を農事實行組合に配付せんが爲、之が生産を行ひたり。其の栽培面積、生産及配付數量左の如し

作物名	品種	數	栽培面積	生産數量	配付數量
秋播種	種	二	一〇八・五〇 ^反	一二四・〇九〇 ^石	一二二・六〇五 ^石
春播種	種	一	一一・二〇〇	一〇八・二〇〇	一〇三・二一七
計	種	三	一二〇・五〇	二三二・二九〇	二二五・八二二

備考 秋播小麥は昭和十二年播種のものなり。

三 麥原種圃

本原種圃は、第七期原種配付計畫に基き、燕麥三品種、裸麥一品種の原種を郡市農會に配付せんが爲、之が生産を行ひたり。其の栽培面積、生産及配付數量左の如し

作物名	品種	數	栽培面積	生産數量	配付數量
燕麥	種	三	一七・七〇 ^反	四八・六一八 ^石	三六・六八二 ^石
裸麥	種	一	五・〇〇	六・二五〇	二・八五四
計	種	四	二二・七〇	五四・八六八	三九・五三六

備考 配付數量は配付計畫に基き配付せるもののみなり。

四 雜穀馬鈴薯原種圃

本原種圃は、第七期原種配付計畫に基き、大豆九品種、小豆四品種、豌豆一品種の原種を郡市農會に配付せんが爲、之が生産を行ひたり。其の栽培面積、生産及配付數量左の如し

作物名	品種	數	栽培面積	生産數量	配付數量
大豆	種	九	二〇・七〇 ^反	一三・〇九二 ^石	一一・三九四 ^石
小豆	種	四	五・〇七	五・二三〇	三・九八七
豌豆	種	一	二三・〇〇	二九・六〇九	一一・八一七
計	種	一四	四八・七七	四七・九三一	二七・一九二

備考 配付數量は配付計畫に基き配付せるもののみなり。

五 蕎麥原種圃

本原種圃は、第七期原種配付計畫に基き、蕎麥一品種の原種を郡市農會に配付せんが爲、之が生産を行ひたり。其の栽培面積、生産及配付數量左の如し

作物名	品種	數	栽培面積	生産數量	配付數量
蕎麥		一	一〇・〇〇 ^反	七・三〇〇 ^石	五・五五〇 ^石

六 玉蜀黍原種圃

本事業は、本年度の創設に係り、飼料用玉蜀黍の優良品種の普及を圖らんが爲、四品種に就き原種の生産を行ひ、玉蜀黍採種圃用の種子に供せんとす。其の栽培面積、生産數量左の如し

作物名	品種	數	栽培面積	生産數量
玉蜀黍		四	一九・七〇 ^反	四五・〇五九 ^石

七 馬鈴薯原種圃

本原種圃は、本年度の創設に係り、無水酒精原料馬鈴薯増産を圖らんが爲、三品種に就き原種の生産を行ひ、農事實行組合採種圃に配付せり、其の栽培面積、生産及配付數量左の如し

作物名	品種	數	栽培面積	生産數量	配付數量
馬鈴薯		三	一五・〇〇 ^町	六三・七〇五 ^貫	四六・二〇〇 ^貫

備考 配付數量は配付計畫に基き配付せるもののみなり。

八 苧麻原種圃

本原種圃は、本年度の創設にして、苧麻の改良増産を圖らんが爲、一品種の栽培を行ひたり。其の栽培面積左の如し

作物名	品種	數	栽培面積	生産數量	配付數量
苧麻		一	二〇〇 ^坪		

備考 一 一反歩栽培計畫なりしも、苗木不足の爲減反せり。

二 本年は栽植初年目に付原種の生産なし。